

令和7年12月藤沢市議会定例会
議案第52号資料

藤沢市湘南台文化センター指定管理者の指定について

1 選定経過

- (1) 第1回審査選定委員会 令和7年 7月30日
- ア 選定方法について
 - イ 募集要項（案）及び管理運営の基準（案）について
 - ウ 審査選定スケジュールについて
 - エ 審査方法について
- (2) 申請書の受付期間 令和7年9月16日から9月21日まで
- (3) 第2回審査選定委員会 令和7年10月22日
- ア 審査方法について
 - イ 申請団体による提案説明（プレゼンテーション）
 - ウ 質疑応答
 - エ 財務分析について
 - オ 委員による審査・採点
- (4) 選定結果 申請書類及びプレゼンテーションによる審査・採点を実施した結果、事業計画や収支予算などについて各委員平均160点満点中123.8点の評価となり、最低基準点の112点を上まわり、かつ、各項目における各委員の評価の平均が2点を下回るものが無いことから、審査選定委員会は、藤沢市湘南台文化センター指定管理者共同事業体を最適な候補者として選定した。

2 審査基準

- (1) 指定管理者であるための基本的理解
- ア 指定管理者制度の理解
 - イ 管理運営の基本方針
- (2) 管理運営能力
- ア 団体の適性
 - イ 財務面の健全性・安定性
- (3) 施設の効用の発揮
- ア 施設利用の促進
 - イ サービスの向上
 - ウ 平等な利用の確保

エ 利用者意見等の把握

(4)施設の管理

ア 施設・設備の維持管理

(5)危機管理体制

ア 防犯・防災対策

イ 緊急時の対応

(6)人員体制・経費

ア 人員体制

イ 収支予算書

ウ 効率的な運営

(7)市の施策への理解

ア 情報の管理体制

イ 環境への配慮

ウ 人権施策への理解

エ 障がいを理由とする差別の解消の推進

オ 暴力団排除への対応

(8)特記項目

ア 関係団体との協働・連携

イ 地域住民との協働・連携

ウ 子どもたちの創造性を高める事業の実績を生かした事業展開

エ 地域文化振興の拠点としての事業実績を生かした事業展開

オ 収入の確保と事業への還元

(9)提案の整合性

ア 業務要求水準との適合性

イ 特色ある提案

ウ 提案の実現性

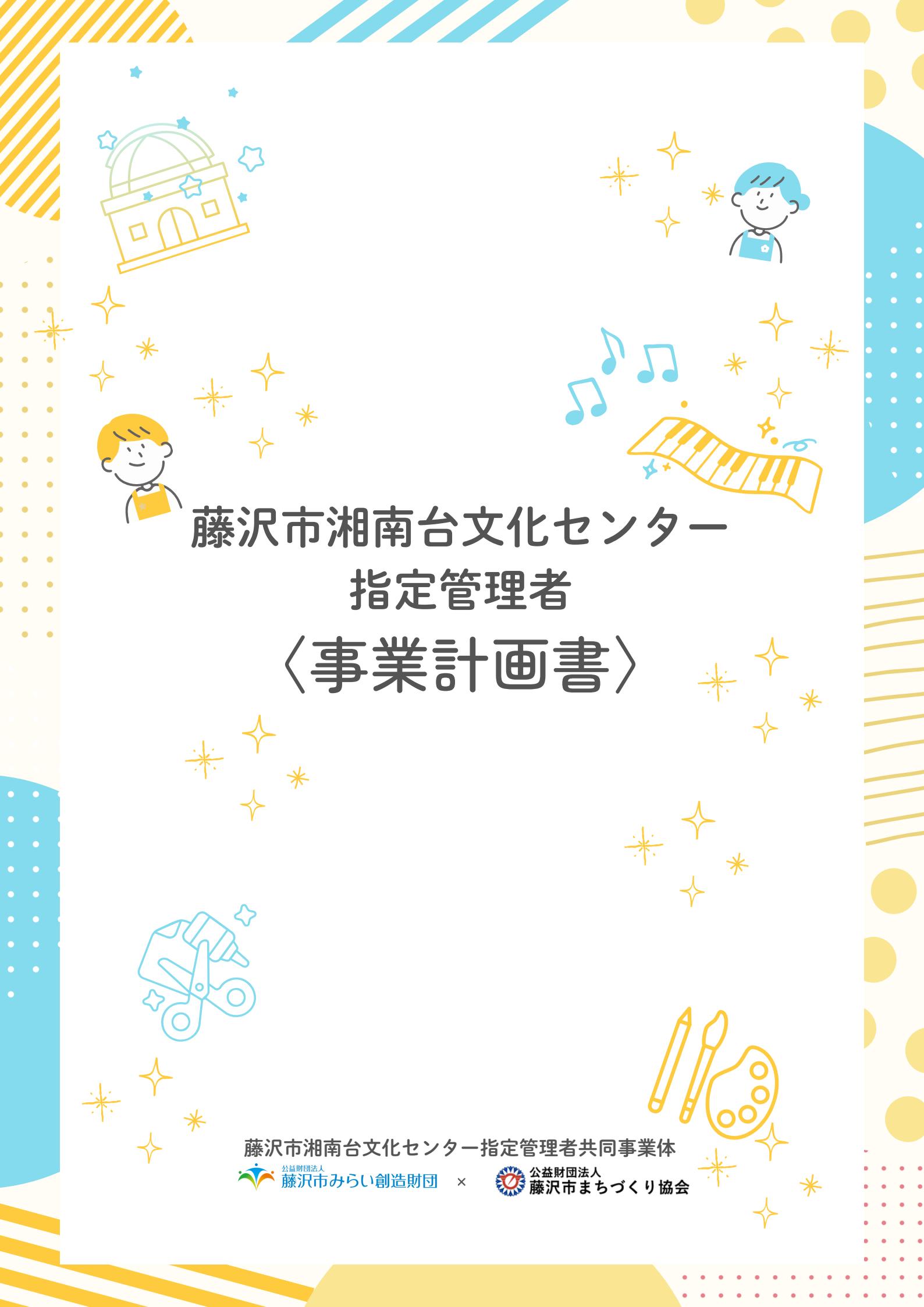
(10)市内経済活性化への配慮

ア にぎわいの創出

3 事業計画書

別添のとおり

以 上



藤沢市湘南台文化センター

指定管理者

〈事業計画書〉

藤沢市湘南台文化センター指定管理者共同事業体



藤沢市みらい創造財団



公益財団法人
藤沢市まちづくり協会

目 次

はじめに	...	1
------	-----	---

I 団体の基本的要件

1 指定管理者であるための基本的理解		
(1)指定管理者制度への理解	...	2
(2)管理運営の基本方針	...	3
2 管理運営能力		
(1)団体の適性	...	4
(2)財務面の健全性・安定性	...	8

II 事業計画書

1 施設の効用の発揮		
(1)施設利用の促進	...	10
(2)サービスの向上	...	14
(3)平等な利用の確保	...	17
(4)利用者意見等の把握	...	18
2 施設の管理		
(1)施設・設備の維持管理	...	19
3 危機管理体制		
(1)防犯・防災対策	...	21
(2)緊急時の対応	...	23
4 人員体制・経費		
(1)人員体制	...	24
(2)収支予算書	...	26
(3)効率的な運営	...	29



5 市の施策への理解

(1)情報の管理体制	…	30
(2)環境への配慮	…	31
(3)人権施策への理解	…	32
(4)障がいを理由とする差別の解消の推進	…	32
(5)暴力団排除への対応	…	33

6 特記項目

(1)関係団体との協働・連携	…	34
(2)地域住民との協働・連携	…	38
(3)子どもたちの創造性を高める事業の実績を生かした 事業展開	…	40
(4)地域文化振興の拠点としての事業実績を生かした 事業展開	…	44
(5)収入の確保と事業への還元	…	48

III その他

1 提案の整合性

特色ある提案	…	50
--------	---	----

2 市内経済活性化への配慮

にぎわいの創出	…	53
---------	---	----



【はじめに】

これまで藤沢市湘南台文化センターは、市民シアターでは、演劇やダンス、音楽等の発表の場及び鑑賞の場として、こども館では、ワークショップやプラネタリウム等を通じた体験の場として、多くの方々に利用され、その役割を充分に発揮してまいりました。

このたび、本施設の指定管理期間が2026年3月をもって満了となる中で、これまで市域全体の文化芸術活動の拠点施設である藤沢市民会館が2026年3月末をもって再整備に伴い休館となることから、藤沢市湘南台文化センターがその役割を果たす必要があると考えております。

こうしたことから、藤沢市の文化芸術事業を担っている「公益財団法人藤沢市みらい創造財団」と、こども館の指定管理者を担っている「公益財団法人藤沢市まちづくり協会」が共同事業体を結成し、次期指定管理者として応募する運びとなりました。

当共同事業体につきましては、ともに公益財団法人の基本要件である「公共の利益に資する特定の公益目的事業を行う非営利法人」であることを踏まえ、安定性と公平性を基盤として、多様化するニーズに対して本施設を効率的かつ効果的に運用してまいります。

また、両構成団体はこれまで多くの市内公共施設を指定管理者として管理運営してまいりました。ここで培ってきた知識や経験を生かし、両団体がそれぞれの強みを最大限発揮した事業を展開していくとともに、連携、協力することで新たな相乗効果を生み出すよう取り組んでまいります。

藤沢市湘南台文化センターは、「こども」「地域」「対話」の3つのコンセプトにより設置された複合施設であり、北部地域の拠点として位置づけられた施設になります。

今後におきましても、拠点としての機能を充分に発揮し、さらなる地域の活性化が図られるよう、地域団体をはじめとした様々なステークホルダーとも連携し、地域のにぎわいを創出する事業を積極的に展開し、市民の文化創造活動の推進、未来を担うこどもたちへの教育活動の推進に取り組んでまいります。



I 団体の基本的要件 1 指定管理者であるための基本的理解

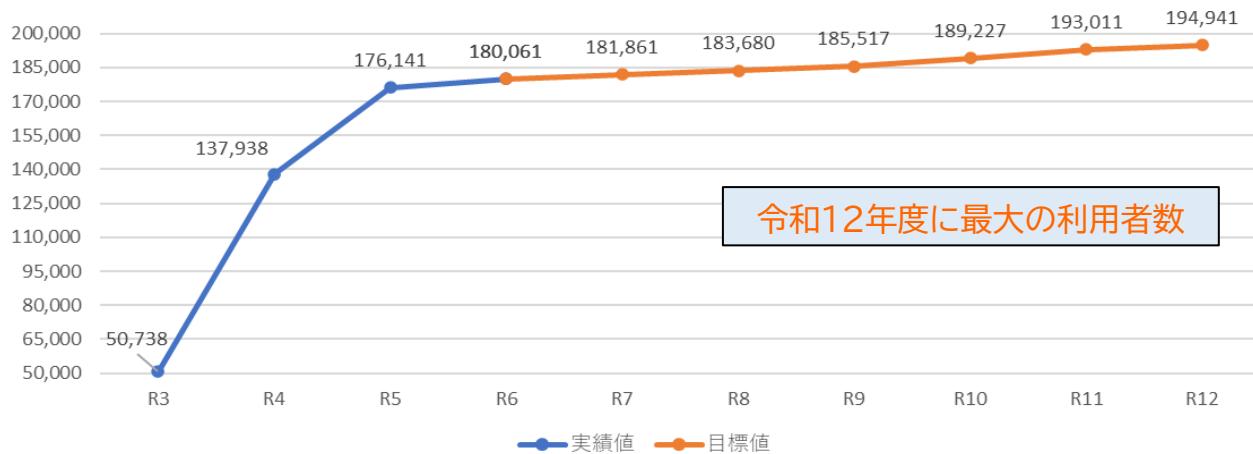
(1) 指定管理者制度への理解

「サービスの水準の向上」「施設の効用の発揮」「地域活性化」をめざします。

- 利用者視点を重視したサービスを提供します。
- 施設の設置目的を理解し、機能を最大限発揮できる運営を行います。
- 地域と連携し、にぎわいや交流、経済効果を生み出し、地域価値を高めます。

藤沢市が策定した「藤沢市指定管理者制度導入及び運用の基本方針」に基づき、公の施設の管理において、民間事業者の有するノウハウを活用することにより、**市民サービスの水準の向上を図ること**、そして、この制度が公の施設の設置目的を**より効果的に達成するための制度であることを**十分に理解し、施設運営を**地域の未来とともに考え**、創っていくパートナーシップであると理解しています。また、藤沢市湘南台文化センター指定管理者共同事業体(以下、当共同事業体)を構成する公益財団法人藤沢市みらい創造財団と公益財団法人藤沢市まちづくり協会は、ともに公共の利益を目的として設立された法人です。これまで藤沢市の公共施設の指定管理者として、当該施設以外にも管理運営を行ってきた経験とそれぞれの団体の強みを生かし、「サービスの水準の向上」「施設の効用の発揮」「地域活性化」をめざします。

①「こども館」の利用者数目標



次期指定管理期間では、積極的な広報活動やイベント実施など幅広い世代に向けて行う自主事業をきっかけとした利用者の増加を計画的に行います。目標利用者数としては最高値であった平成27年度の193,370人を目標値に設定し、利用者の増加をめざします。

②「市民シアター」のホール稼働率目標



市民シアターの利用者数は、ホールの貸館によるものが大多数を占めることから、稼働率を目標値とします。これまで土・日・祝日の稼働率は、ほぼ100%であることから、自主事業等により平日の稼働率を上げることで、80%を目標値に設定します。

I 団体の基本的要件 1 指定管理者であるための基本的理解

(2)管理運営の基本方針

「次世代育成」「地域のにぎわい」「文化振興拠点」をめざします。

- こども館の事業と市民シアターでの公演等を通じて、こどもたちの創造性を高めます。
- 地域イベントの開催、施設利用者の拡大等により、地域を盛り上げます。
- 「藤沢市文化芸術振興計画」に基づき、文化芸術の振興、推進の一翼を担います。

①管理運営の基本方針

当共同事業体は、「こども」「地域」「対話」という藤沢市湘南台文化センターの基本理念の下に、文化創造の拠点施設として、次の基本方針に基づき管理運営に取り組みます。

藤沢市湘南台文化センターの3つの基本方針

『次世代育成』

未来を創るこどもたちが、遊びながら学べ様々な経験ができる環境を整えるとともに、文化・芸術にふれる機会を創出することで、こどもたちの学びと成長を育みます。

『地域のにぎわい』

地域資源(人、施設、文化)を生かした事業を展開します。地域住民の参加や施設利用、各種活動団体や地元企業との連携により、地域のにぎわいを創出します。

『文化振興拠点』

文化の創造、発信、継承を担う文化振興の拠点施設と位置付け、多様なジャンルの鑑賞機会の提供、市民の文化活動の支援や積極的な情報発信により文化活動の裾野を広げ、文化振興の一翼を担います。

②公の施設の管理者として

当共同事業体は、指定管理者として藤沢市運動施設（4施設）、青少年施設（26施設）、こども館、都市公園（25施設）、自転車等駐車場（26施設）、福祉施設（2施設）の管理を行っています。長年にわたり公の施設の指定管理者として培ってきた経験と実績を生かし、利用者が安心して快適に利用できるよう努めます。特に、以下の項目を主な心構えとして掲げ、職員一同、実行します。

公の施設の管理者としての心構え

- 1 「藤沢市湘南台文化センター指定管理者管理運営の基準」に従い、施設の管理運営を行うとともに藤沢市と密接な連携を図り、藤沢市の施策に沿った運営を行います。
- 2 市民が公平に施設利用及び事業参加できるよう公平性、透明性のある運営を行います。
- 3 利用者の安全管理、衛生管理を徹底し、市民が安心して利用できる施設づくりを行います。
- 4 処分権限を有する指定管理者であることを十分に認識し、実施機関として、「藤沢市個人情報の保護に関する法律の施行等に関する条例」及び「藤沢市情報公開条例」並びに「藤沢市暴力団排除条例」はもとより、当共同事業体においても同様の規程を遵守し、藤沢市に準じた施設運営を行います。
- 5 施設に関する条例に定められた事項、その他関連法令などを遵守し、施設運営を行います。
- 6 公の施設の適正な管理運営において、SDGs(持続可能な開発目標)のもと「誰ひとり取り残さない」多様性と包摂性のある社会の実現をめざします。

I 団体の基本的要件 2 管理運営能力

(1)団体の適性

「(公財)藤沢市みらい創造財団」・「(公財)藤沢市まちづくり協会」が共同運営します。

- 公益財団法人としての役割を果たします。
- 公の施設の指定管理者での経験、ノウハウ及び当該施設の管理運営実績を生かします。

①法人の概要

▶ ア 共同事業体代表団体:(公財)藤沢市みらい創造財団

2025年 8月 1日現在

名称	公益財団法人 藤沢市みらい創造財団															
所在地	〒251-0054 神奈川県藤沢市朝日町1番地の1 藤沢市役所分庁舎2階	電話番号	0466-21-7861 (事務局総務課)													
代表者	理事長 宮治 正志															
沿革	1992年(平成4年) 10月1日 財団法人藤沢市芸術文化振興財団が設立 1995年(平成7年) 4月1日 財団法人藤沢市青少年協会が設立(財団法人藤沢市みらい創造財団の前身) 2000年(平成12年) 12月1日 財団法人藤沢市スポーツ振興財団が設立 2010年(平成22年) 4月1日 財団法人藤沢市青少年協会・財団法人藤沢市スポーツ振興財団・財団法人藤沢市芸術文化振興財団の3財団が統合し「財団法人藤沢市みらい創造財団」として事業を開始 2012年(平成24年) 4月1日 公益財団法人移行認定を受けて、「公益財団法人藤沢市みらい創造財団」に名称変更															
事業内容	<p>■公益目的事業 (1)青少年の健全な育成を目的とする事業 (2)市民の生涯スポーツの推進と健康づくりを目的とする事業 (3)芸術文化の振興を目的とする事業</p> <p>■収益事業等 (1)収益事業 物品販売事業及び駐車場管理運営業務 (2)その他事業 藤沢市からの受託事業など</p>															
理事会 評議員会	<p>■理事会構成</p> <table border="1"><tr><td>理事長 1人</td><td></td></tr><tr><td>副理事長 2人</td><td></td></tr><tr><td>専務理事 1人</td><td></td></tr><tr><td>常務理事 1人</td><td></td></tr><tr><td>理事 16人</td><td></td></tr><tr><td>監事 2人</td><td></td></tr></table> <p>■評議員会構成</p> <table border="1"><tr><td>評議員 17人</td></tr></table>	理事長 1人		副理事長 2人		専務理事 1人		常務理事 1人		理事 16人		監事 2人		評議員 17人	<p>【理事・評議員選出団体】</p> <ul style="list-style-type: none">・藤沢市スポーツ推進委員協議会・藤沢市スポーツ少年団本部・藤沢市レクリエーション協会・藤沢市体育協会・藤沢市地区社会体育振興協議会連合会・藤沢商工会議所・藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会・藤沢市青少年育成協議会・藤沢市子ども会連絡協議会・藤沢市ボイイスカウト連絡会・藤沢市民交響楽団・藤沢市合唱連盟・藤沢市文化団体連合会・学識経験者・公益社団法人藤沢市医師会・藤沢市立小学校長会・藤沢市子ども青少年部・藤沢市会計課・地域子どもの家運営委員長会議・藤沢SL少年団・藤沢市生涯学習部・藤沢エフエム放送株式会社・藤沢市立中学校長会・東京地方税理士会藤沢支部・児童クラブ運営委員長会議・藤沢地区保護司会	
理事長 1人																
副理事長 2人																
専務理事 1人																
常務理事 1人																
理事 16人																
監事 2人																
評議員 17人																

I 団体の基本的要件 2 管理運営能力

▶イ 共同事業体構成団体:(公財)藤沢市まちづくり協会

2025年 8月 1日現在

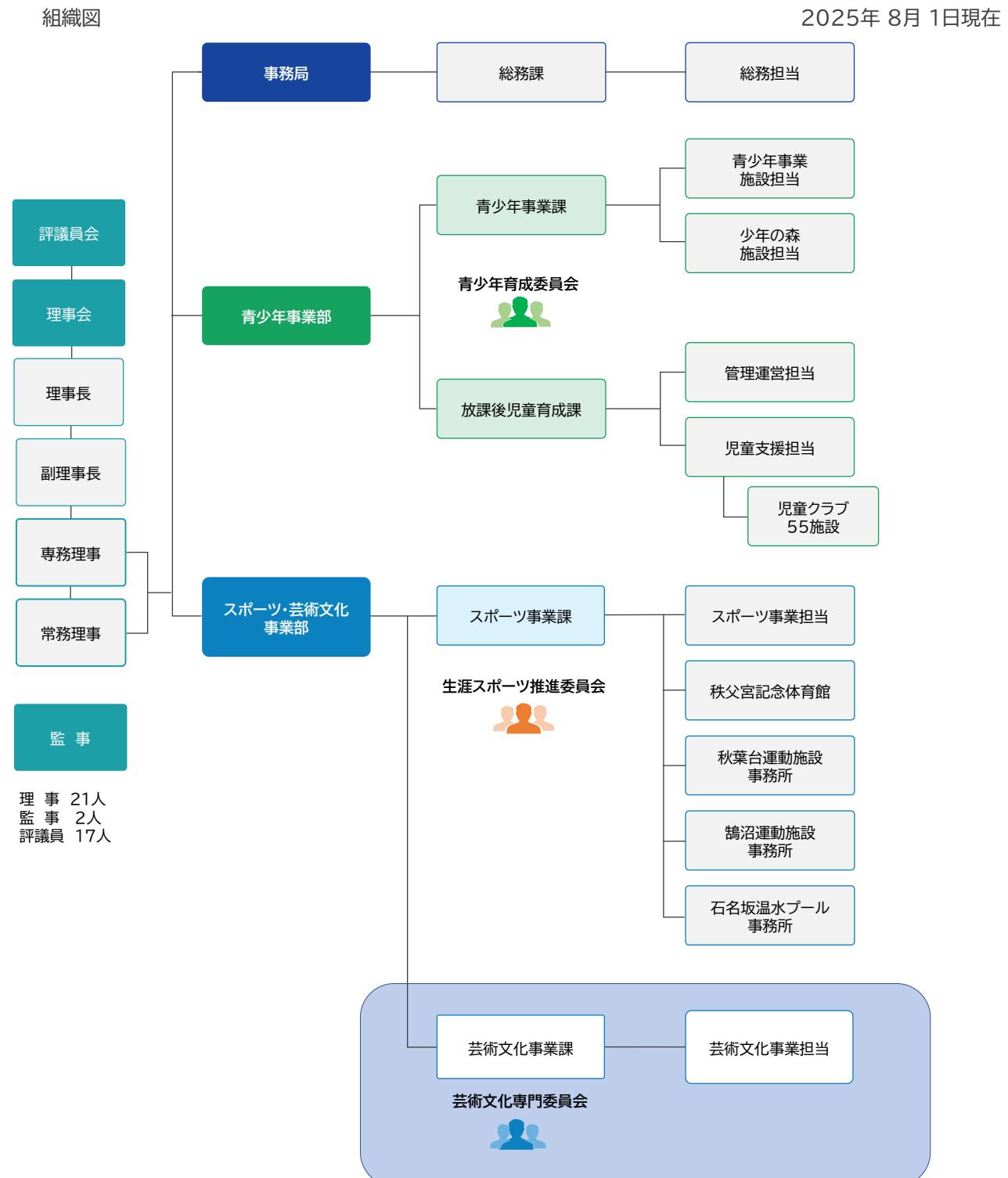
名称	公益財団法人 藤沢市まちづくり協会														
所在地	〒252-0805 神奈川県藤沢市円行二丁目3番地の17	電話番号	0466-46-7788 (事務局代表)												
代表者	理事長 斎藤 隆久														
沿革	<p>1986年(昭和61年) 4月1日 神奈川県知事の認可(神奈川県指令都整第7号)により設立され、事務所を藤沢市朝日町に置く。</p> <p>1989年(平成元年) 6月1日 藤沢市湘南台文化センターこども館事業を受託</p> <p>1995年(平成7年) 3月 事務所ビル竣工に伴い、藤沢市円行に移転</p> <p>2010年(平成22年) 4月1日 藤沢市社会福祉事業協会から生きがい就労センター事業及びシルバー人材センター事業移管</p> <p>2013年(平成25年) 4月1日 公益財団法人へ移行</p>														
事業内容	<p>■公益目的事業 (1)まちづくり推進事業 藤沢市湘南台文化センター運営管理業務、市内25公園管理業務、自転車等駐車場管理業務、街路樹監理業務、大庭台墓園墓所管理業務など (2)生きがい就労センター事業 (3)シルバー人材センター事業</p> <p>■収益事業等 (1)収益事業 事務所ビル賃貸事業及び駐車場管理運営業務など (2)その他事業 藤沢市からの受託事業など</p>														
理事会 評議員会	<p>■理事会構成</p> <table border="1"> <tr> <td>理事長</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>専務理事</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>常務理事</td> <td>欠員</td> </tr> <tr> <td>理事</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>監事</td> <td>2人</td> </tr> </table> <p>■評議員会構成</p> <table border="1"> <tr> <td>評議員</td> <td>6人</td> </tr> </table>	理事長	1人	専務理事	1人	常務理事	欠員	理事	3人	監事	2人	評議員	6人	<p>【理事・評議員選出団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤沢市計画建築部 ・藤沢市財務部 ・藤沢青少年交通安全連絡協議会 ・社会福祉法人 ・特定非営利活動法人藤沢市民活動推進機構 ・シルバー人材センター会員代表 ・学識経験者 ・藤沢商工会議所 ・藤沢市福祉部 	
理事長	1人														
専務理事	1人														
常務理事	欠員														
理事	3人														
監事	2人														
評議員	6人														

I 団体の基本的要件 2 管理運営能力

②組織図・体制

▶ ア 共同事業体代表団体:(公財)藤沢市みらい創造財団

公益財団法人として、専門的な知識を有する方々で構成する理事会及び評議員会を定期的に開催しています。さらに専門的分野に関しては、各事業部門に外部委員で構成する専門委員会(青少年育成委員会、生涯スポーツ推進委員会、芸術文化専門委員会)を設置し、事業運営の方向性や課題などについて協議・検討し、事業の円滑な推進を図っています。



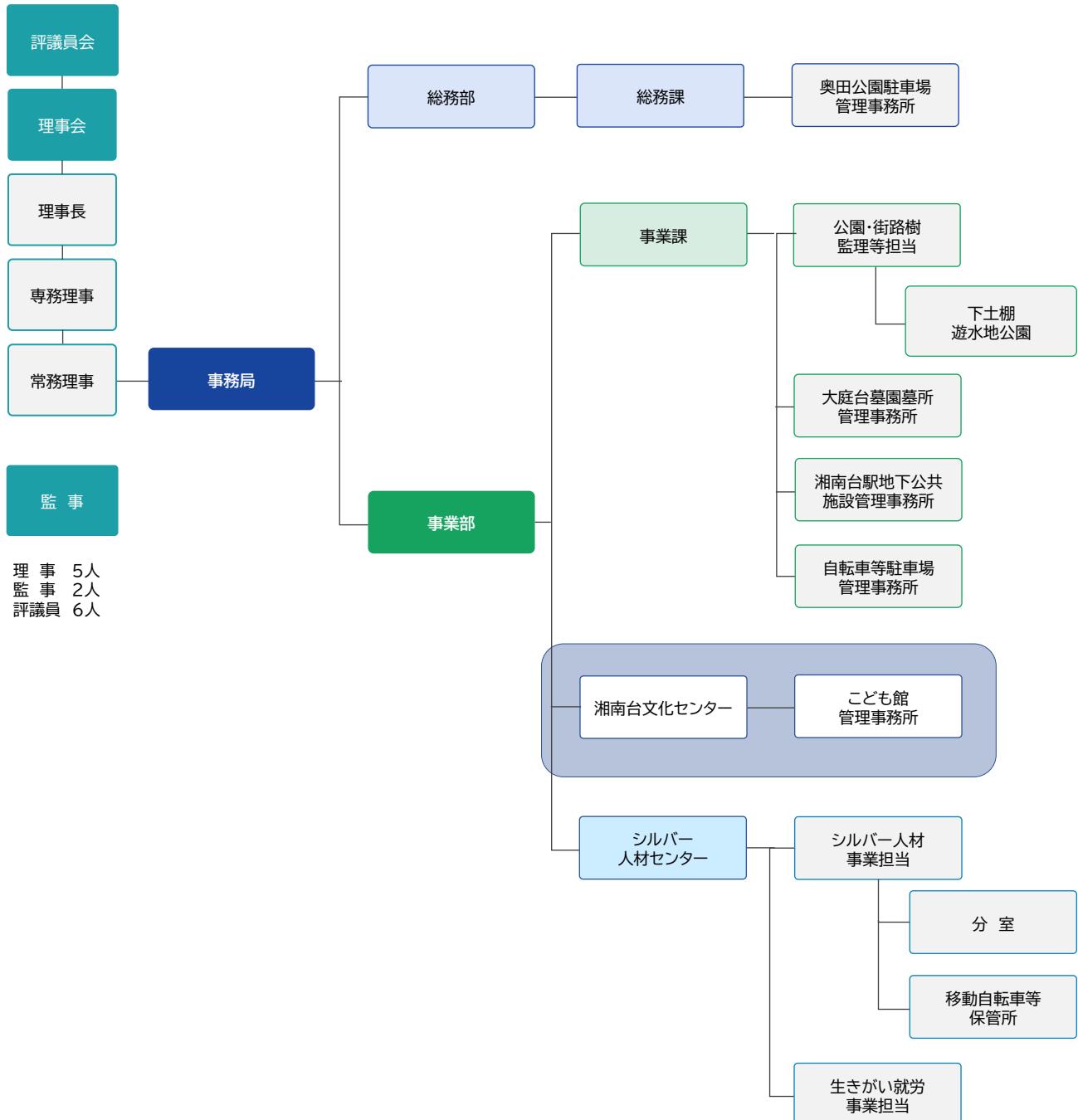
I 団体の基本的要件 2 管理運営能力

▶イ 共同事業体構成団体:(公財)藤沢市まちづくり協会

公益財団法人として、専門的な知識を有する方々で構成する理事会及び評議員会を定期的に開催し、事業運営の方向性や課題などについて協議・検討しています。さらに専門的分野に関しては、有識者や地域関係団体の代表と意見交換の場を設け、事業の円滑な推進を図っています。

組織図

2025年 8月 1日現在



I 団体の基本的要件 2 管理運営能力

(2)財務面の健全性・安定性

公益財団法人としての健全な財務基盤を背景に、安定的な運営を実現します。

- 公益目的事業と収益事業のバランスを図り、持続可能な施設運営を行います。
- 両構成団体ともに健全な財務基盤を構築しています。

①過去3か年の財務諸表及び財務分析表(安全性分析)

▶ ア 共同事業体代表団体:(公財)藤沢市みらい創造財団

貸借対照表

(単位:千円)

科目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
I 資産の部			
流動資産	481,722	604,594	597,773
固定資産	1,397,448	1,441,243	1,473,939
資産合計	1,879,170	2,045,837	2,071,712
II 負債の部			
流動負債	420,988	395,730	336,150
固定負債	602,121	626,026	685,339
負債合計	1,023,109	1,021,756	1,021,489
III 正味財産の部			
一般正味財産	448,618	581,521	614,348
指定正味財産	407,443	442,560	435,875
正味財産合計	856,061	1,024,081	1,050,223
負債及び正味財産合計	1,879,170	2,045,837	2,071,712

正味財産増減計算書

(単位:千円)

科目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1 収益計	3,133,830	3,321,272	3,436,440
2 費用計	3,189,991	3,148,362	3,405,123
3 法人税・住民税及び事業税	70	4,890	5,175
【当期正味財産増減額】	△ 56,231	168,020	26,142
【正味財産期首残高】	912,292	856,061	1,024,081
【正味財産期末残高】	856,061	1,024,081	1,050,223

財務分析表

財務指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度
流動比率	114.4%	152.8%	177.8%
負債比率	119.5%	99.8%	97.3%
固定長期適合率	95.8%	87.3%	84.9%
自己資本比率	45.6%	50.1%	50.7%

■流動比率【(流動資産 ÷ 流動負債) × 100%】

短期的な支払い能力を示す。この数字が高いほど財務の短期安全性が高く、一般的には100%以上が望ましい。

■負債比率【(負債 ÷ 正味財産) × 100%】

正味財産に対する負債の割合を示す。この数字が低いほど財務の中長期的安全性が高く、一般的には100%~150%が望ましい。

■固定長期適合率【固定資産 ÷ (正味財産 + 固定負債) × 100%】

正味財産と固定負債の合計額に対する固定資産の割合を示す。この数字が低いほど財務の長期的安全性が高く、100%未満が望ましい。

■自己資本比率【(正味財産 ÷ 総資産) × 100%】

総資産に占める正味財産の割合を示す。この数字が高いほど財務の中長期的安全性が高く、一般的に30%以上が望ましい。

▶イ 共同事業体構成団体: (公財)藤沢市まちづくり協会

貸借対照表

(単位:千円)

科目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
I 資産の部			
流動資産	762,204	793,215	867,234
固定資産	721,830	692,498	648,026
繰延資産	401,988	364,340	326,694
資産合計	1,886,022	1,850,053	1,841,954
II 負債の部			
流動負債	331,842	346,221	341,992
固定負債	392,989	331,916	277,130
負債合計	724,831	678,137	619,122
III 正味財産の部			
一般正味財産	1,091,191	1,101,916	1,152,832
指定正味財産	70,000	70,000	70,000
正味財産合計	1,161,191	1,171,916	1,222,832
負債及び正味財産合計	1,886,022	1,850,053	1,841,954

正味財産増減計算書

(単位:千円)

科目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1 収益計	1,665,388	1,642,986	1,698,173
2 費用計	1,623,345	1,630,740	1,669,990
3 法人税・住民税及び事業税他	11,426	1,521	△ 22,733
【当期正味財産増減額】	30,617	10,725	50,916
【正味財産期首残高】	1,130,574	1,161,191	1,171,916
【正味財産期末残高】	1,161,191	1,171,916	1,222,832

財務分析表

財務指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度
流動比率	229.7%	229.1%	253.6%
負債比率	62.4%	57.9%	50.6%
固定長期適合率	46.4%	46.0%	43.2%
自己資本比率	61.6%	63.3%	66.4%

■流動比率【(流動資産 : 流動負債) × 100%】

短期的な支払い能力を示す。この数字が高いほど財務の短期安全性が高く、一般的には100%以上が望ましい。

■負債比率【(負債 ÷ 正味財産) × 100%】

正味財産に対する負債の割合を示す。この数字が低いほど財務の中長期的安全性が高く、一般的には100%~150%が望ましい。

■固定長期適合率【固定資産 ÷ (正味財産 + 固定負債) × 100%】

正味財産と固定負債の合計額に対する固定資産の割合を示す。この数字が低いほど財務の長期的安全性が高く、100%未満が望ましい。

■自己資本比率【(正味財産 ÷ 総資産) × 100%】

総資産に占める正味財産の割合を示す。この数字が高いほど財務の中長期的安全性が高く、一般的に30%以上が望ましい。

(1)施設利用の促進

「こども」「地域」「文化」の発信をします。

- 利用者ニーズを把握し、期待に応える事業運営を行います。
- 利用者の拡大のため、施設の特性を生かした新たな取組を実施します。
- 施設のスペースを最大限に活用し、こども・地域・文化芸術に関する情報発信に努めます。

①利用者ニーズに沿った運営

▶ア 展示ホール・円環ギャラリーの充実

- ・展示品を直接触ることができる「ハンズオン展示」により、**思い思いの自由な遊びの中から新たな発見ができるような展示**を行い、**五感を活用すること**により、理解を深めることを促進します。
※ハンズオン機能…展示物や装置に実際に触れて操作し、体験的に学ぶ学習方法です。
- ・こども同士や親子間など**利用者同士の対話が生まれ**、幼児から大人まで体験できる展示をめざします。
- ・特別企画展や季節展示の実施により、**集客力を高め**、利用者が文化や科学に親しむきっかけを作ります。
- ・学校の夏期長期休暇期間に特別企画展を開催し、来館を促進します。展示ホール、宇宙劇場、ワークショップが連携した企画構成とし、こども館全体が一体となって相乗効果を高め、**宣伝効果をあげて来館を促進**します。
- ・季節の行事に合わせた企画展示を行い、展示への関心を高める機会を設け利用者の拡大を図ります。
- ・乳幼児や高齢者の利用が増加していることから、乳幼児向けの知育玩具や、伝承遊びなどの親子三世代で楽しめる展示物を導入し、**幅広い年齢層に対応した展示物の更新**を展開します。
- ・**民間事業者や教育機関等との連携による展示物の更新**や、展示に関連する体験学習、講座等を企画・開催します。
- ・円環ギャラリーでは既存の**展示物の見直し**を行いながら、宇宙や科学に関する動向を鑑み、情報提供についての展示を更新します。



こども館展示ホール

▶イ プラネタリウムの機能の発揮

- ・専門性のある経験豊富な職員による星空の生解説を毎回行うことで、**利用者とのコミュニケーションを重視した一体感を味わえる体験**としての学びの場を提供します。
- ・乳幼児連れの利用者が多い平日の日中に、キッズプラネタリウムや全天周映画の投影枠を設けます。定期的に投影を実施することで**平日の宇宙劇場の利用を促進**します。
- ・キッズプラネタリウムでは**幼児も家族と楽しめる**よう、短時間で易しい内容の生解説を行います。
- ・全天周映画を上映し、プラネタリウムの20メートルドームスクリーンを利用した**没入感を感じる迫力ある映像**により、こどもたちの関心を高めます。
- ・「ナイトイベント」の充実を図り、日中の投影時間帯での来場が困難な方への利用の機会を広げます。
- ・中学生以上限定の「のんびりアロマプラネタリウム」や、小学生が対象の「星空ラボ」のほか、宇宙や天文に関する講演会やイベントなど、**様々な利用者層に焦点をあてた事業**を企画・開催します。
- ・宇宙だけでなく幅広い分野の番組を上映することで**利用者の層を広げます**。
- ・一定期間ごとに番組を変更することで、**リピート利用も促進**します。



プラネタリウム

Ⅱ 事業計画書 1 施設の効用の発揮

▶ ウ こども館での豊富なワークショップ講座の開催

- ・こども館ではこれまで年間60種類を超えるテーマで、200回以上のワークショップ講座を開催しており、15,000人以上の方が参加しています。こどもの創造力を伸ばし、バリエーションの豊かなワークショップを継続して行います。
- ・平日の小学校の終わる時間帯に「放課後ワークショップ」を開催し、こどもの居場所づくりに貢献します。



オープンワークショップ講座

▶ エ 市民シアターホールやリハーサル室の空き時間の有効活用

- ・市民シアターホールの空き時間に「グランドピアノ演奏体験」や「ホールを使ったオーディオルーム体験」「演奏動画の撮影」などを個人向けに開放します。また、空き時間の活用については、利用者のニーズを調査するためホームページやSNSでアイデアを募集します。
- ・市民シアターのホールやリハーサル室の空き時間を音楽活動やダンス等の練習の場として提供し、収益とのバランスの取れた稼働率の向上に努めます。
- ・音楽活動やダンス等の文化芸術に触れ、楽しむ機会を提供するとともに日常において気軽に利用をすることができる開かれたホールをめざします。
- ・練習場所の少ない学生たちに練習の場を提供することにより、次世代育成につなげます。



市民シアター
リハーサル室

▶ オ 水遊び場の復活

- ・小さな子どもの遊び場として、せせらぎ広場の水遊びができるエリアを一部再開することで、水に触れ、心地よさや涼しさを満喫できる機会を提供し、にぎわいを創出します。
- ・小さな子どもとその保護者にとって魅力のある遊び場として利用を増やします。



水遊び場

②新規利用者獲得のための取組

▶ ア 定期的な演劇公演の実施

- ・演劇を想定した施設である市民シアターの特性を生かし、定期的な演劇公演を実施します。
- ・話題性のある演目や人気キャストの劇団を招聘し、演劇になじみのない方から演劇愛好者まで満足いただける公演を上演します。
- ・定期的に公演を行うことにより、市民シアターでの演劇事業を定着させリピーターを増やします。
- ・遠方まで出向くことなく身近な場所で本格的な舞台を鑑賞することができる機会を提供します。



演劇公演

Ⅱ 事業計画書 1 施設の効用の発揮

▶ イ 多彩な自主事業の実施

- ・これまで藤沢市の文化振興を担ってきたノウハウを生かし、**多様な自主事業**を実施し、幅広い世代へ向け優れた舞台芸術を鑑賞する場を広く提供します。
- ・ホールでの音楽鑑賞に**足を運びにくい乳幼児と保護者**を対象に、乳幼児に親しまれている曲を中心とし、大声を出したり、会場内を動き回ったりすることができるコンサートを開催します。
- ・人気アーティストや話題の公演を開催し、市内外から来場者を集め**地域のにぎわい**を創出します。



乳幼児向けコンサート

▶ ウ バックステージツアーの実施

- ・普段は目にすることができない、こども館の宇宙劇場や市民シアターのホールを見学できる**バックステージツアーを実施**します。
- ・職員による解説付きでご案内し、こだわりが詰まった施設内の魅力を発信します。
- ・プラネタリウムの仕組みや、劇場、舞台芸術に触れ、**知識を深める機会**を提供します。



音響調整室

▶ エ こども館と市民シアターでの一体的なイベント実施による新たな利用者の獲得

- ・こども館と市民シアターの一体的なイベントを実施し、異なる分野に興味を広げてもらうとともに、**小・中学生や親子の利用・参加を促進**し、新規利用者の獲得につなげます。



こども館でのワークショップ

▶ オ せせらぎ広場の有効活用

- ・せせらぎ広場を有効活用し、お祭りやこども向けイベントの開催、野外コンサートなど、**地域の方に親しんでいただける機会**を提供します。
- ・こども館や市民シアターのイベントの際も館内にとどまらず、積極的に**せせらぎ広場を利用したイベントを企画**します。
- ・せせらぎ広場内にはベンチやテーブルを設置し、**地域の憩いの場所**として提供します。



せせらぎ広場

▶ カ 湘南台公園との一体的な企画事業と回遊庭園の再生

- ・湘南台文化センターと隣接している湘南台公園は、連絡通路で連結しており、(公財)藤沢市まちづくり協会と藤沢市緑化事業協同組合が指定管理者として管理を行っていることから、**連携した一体的な企画事業**を実施します。
- ・藤沢市湘南台文化センター内の**回遊庭園**を散策や散歩コースとして活用していただけるよう整備し、地域の方の利用を増やします。



回遊庭園

Ⅱ事業計画書 1 施設の効用の発揮

▶ キ 口ヶ地協力を通じた施設PR

- ・映画、ドラマ、CM等の口ヶ地として施設を積極的に提供することで、藤沢市湘南台文化センターの認知向上を図ります。
- ・テレビやインターネットで施設や藤沢市の魅力を広く発信することで、**施設の価値を高め、利用者の増加を促進します。**
- ・施設の露出が増えることで、**広告費をかけずに施設のPR**ができ、利用者の増加につなげます。



口ヶの撮影(イメージ)

③施設スペースの新たな活用

▶ ア 情報コーナーの設置

- ・こども館と市民シアターの空きスペースを活用し、両施設での催しをはじめ、近隣施設等での催しのチラシやパンフレットの配架、ポスターを掲示し、**文化芸術や教育等に関する最新の情報**を提供します。
- ・こども館と市民シアターでの催しを周知する場を設け、文化芸術団体や教育に関する団体への支援に努めます。
- ・地域のイベント等をPRし、地域のにぎわいにつなげます。



情報コーナー(イメージ)

▶ イ ロビーの活用

- ・市民シアターロビーでは市内で行われる作品展やイベントに関する展示を行い、**情報発信や文化芸術に触れる機会**を増やす活動に取り組みます。
- ・こども館のエントランスホールや、市民シアターのロビーに、**四季の行事にちなんだ装飾**を施し、訪れる人にとって居心地のよい空間づくりに努めます。



市民シアターロビー
パネル設置



こども館エントランスロビー
クリスマス装飾

(2)サービスの向上

利用者の意見を柔軟に取り入れ、サービスの向上をめざします。

- 多様なニーズに合わせたサービスの向上に取り組みます。
- 利用者の視点に立ち求められているサービスを提供します。

①利用者の視点に立ったサービスの提供

▶ ア 授乳スペースやおむつ交換台、こども用トイレの整備

- ・乳幼児連れの利用者にも気軽に立ち寄りいただけるように授乳スペースの整備を進めます。
- ・授乳スペースには調乳ポットやおむつ用ゴミ箱を設置します。
- ・プライバシーに配慮し、安心してご利用いただける子育て環境を提供します。
- ・乳幼児対象の公演等で多くの利用者が見込まれる際には、プライバシーを確保したうえでリハーサル室を授乳室・おむつ交換室として開放します。
- ・男子トイレにもおむつ交換台を増設します。
- ・洋式トイレで使用できることも用便座を新たに設置します。



▶ イ 主催公演での託児サービスの実施

- ・子育て世代の方にも演奏会や演劇公演をゆっくりお楽しみいただけるよう、主催事業公演の一部で託児サービスを実施します。
- ・保育の知識を持ったベテランのボランティアスタッフがお預りします。



託児サービス

▶ ウ ミュージアムショップのリニューアル

- ・星座早見盤やワークショップブックなどのこども館の事業と連動したグッズを販売し、こども館で得た知識や体験をより深めることを支援します。
- ・こども館正面出入口のインフォメーションと一体となった配置とし、スペースを拡大することで利用を促進します。



ミュージアムグッズ

▶ エ 施設利用パンフレットの作成と施設案内表示のリニューアル

- ・施設の特色を幅広くPRし、料金を明確化した利用者向けのパンフレットを作成します。
- ・利用者が目的地やサービスを見つけやすいよう敷地内にわかりやすい施設案内表示を掲示します。また、外国人利用者のため多言語による表示などの充実を図ります。



施設案内表示

II 事業計画書 1 施設の効用の発揮

▶ オ ホームページのリニューアル

- 必要な情報や特徴を適切に提供できるよう情報を整理し、利用者にとって使いやすく、見やすいホームページにリニューアルをします。
- スマートフォンのユーザーも急増しているため、パソコンだけでなくスマートフォン等様々な端末にも対応し、快適に閲覧できるホームページを作成します。



現・藤沢市
湘南台文化センターHP

▶ カ SNSや地域のタウン誌を利用したタイムリーな情報発信・提供

- X、Instagram、Facebook等のSNSを活用し、**タイムリーな情報発信**に努めます。
- 公演やイベントの告知、当日の様子を発信し、集客につなげます。
- YouTubeやリール動画などを積極的に活用し、訪れたくなるような施設の動画を作成することで、施設の魅力を発信します。
- 市内や近隣地域の地域密着型タウン誌へイベント等の掲載をし、地域住民に向け発信します。



ふじさわみらいアーツ(X)

▶ キ 舞台専門職員によるサポート

- 市民シアターでの専門的な知識を有する舞台職員が、ホールで催しをされる方々へ舞台運営サポートや、舞台演出に使用する機器と舞台装置の設営、操作、機器や施設のメンテナンスなどを行い、**安全で使いやすいホールづくり**に努めます。
- 市民シアターの持つ機能を最大限に生かし、最適なパフォーマンスを発揮できるような提案やアドバイスを通じてサポートに努めます。



市民シアター舞台

▶ ク 利用団体のチケット販売

- 市民シアターで開催する公演等のチケットを窓口で代行販売します。利用団体はチケットの販路が広がるとともに、利用者にとっては会場でチケットが購入できることで利便性が向上します。



チケット受託販売

▶ ケ 市民会館休館中の文化芸術活動団体への支援

- 市民会館休館に伴い、市内での文化芸術活動の会場が減少することから活動場所が限られる中で、**より多くの団体が利用できるよう努めます**。
- 新規利用団体からの問い合わせや相談について、適切なアドバイスや提案を行うよう努めます。
- 市内の文化芸術活動が衰退することのないよう、「市民会館休館に伴う代替施設情報一覧」を活用し丁寧な案内を行います。



休館に伴う代替施設一覧

II 事業計画書 1 施設の効用の発揮

② 多様なニーズへの対応とDX化による利便性向上

▶ ア 無料Wi-Fiサービス

- ・「藤沢市DX推進計画」の下、スマートシティの実現に向けた取組として、施設内に誰でも利用ができる**無料Wi-Fiサービスを提供します。**
- ・無料Wi-Fi環境の整備により、業務での利用も想定し、動画の即時更新、活動時の情報収集等を図ります。
- ・無料Wi-Fiサービスの提供により、地震や台風などの**災害時の通信手段を確保**します。



▶ イ キャッシュレス決済対応機器の導入

- ・「藤沢市DX推進計画」の最重要取組項目のひとつである**「キャッシュレス化の推進」に取り組み**、こども館でのグッズ販売、市民シアターでのチケット販売についてキャッシュレス決済の導入を検討します。
- ・キャッシュレス決済に対応した、飲料やアイスの自動販売機を設置します。



▶ ウ オンラインをはじめとした、多様なチケット販売

- ・自主事業については**オンラインチケット購入サービスを取り入れ**、来館することなくご購入いただくことができるオンライン化の推進に取り組みます。
- ・自主事業等のチケットは、インターネット予約・電話受付のほか、インターネット等が苦手な購入者のニーズに鑑み、対面販売も継続して実施します。
- ・お客様に納得してチケットをご購入いただけるよう、窓口ではきめ細かに対応し、**親切、丁寧、的確な接客**に努めます。
- ・窓口対応の際は、職員がお客様とのコミュニケーションに努め、施設運営や自主事業について意見や要望などを傾聴し、サービスの向上等に努めます。



オンラインチケットサービス

(3)平等な利用の確保

公平・安心・笑顔あふれる施設づくりをめざします。

- 公の施設としての「公平・公正」を踏まえ、平等な利用を確保します。
- 藤沢市湘南台文化センターが一体となり「誰もが安心して楽しめる施設づくり」を推進します。

①公共性を踏まえた施設の平等利用の確保

▶ ア 公共性・公平保持に関する条例の理解

- ・全ての利用者が公平・公正に施設を利用するため、藤沢市湘南台文化センター条例のほか、関係法令を理解し適正な利用調整を推進します。

▶ イ 公共サービス事業者としての職員研修

- ・全ての利用者に快適な環境を提供するため、指定管理者として藤沢市運動施設（4施設）、青少年施設（26施設）、こども館、都市公園（25施設）、自転車等駐車場（26施設）、福祉施設（2施設）の管理を行って得た管理運営の経験や外部講師を招いて毎年実施している接遇研修で培ったノウハウを活用し、より一層の接遇向上に努めます。

②誰もが「安全・安心」に利用できる施設づくり

▶ ア ユニバーサルデザインの視点を取り入れた施設づくり

- ・誰にとってもわかりやすく使いやすさに配慮した利用案内・サイン等へ更新し、さらなるユニバーサルデザイン化を進め、利用者に適切な対応を行います。
- ・多言語の対応として、携帯型翻訳機を受付に用意します。
- ・臨時職員を含め全職員で接遇マニュアル及び接遇研修で習得したノウハウを確認し、利用者や電話での問合せなどに対して、どなたにも公平で平等な対応をします。
- ・障がいのある方が施設を利用する際には積極的に携り、何らかの対応を必要としている意思が伝えられた場合には適切に対応するなど、実施に伴う負担が過度にならない範囲で対応します。
- ・各施設に貸出用の車椅子及びこども館には貸出用のベビーカーを用意します。



車椅子貸出

▶ イ インクルーシブデザインの視点を取り入れた事業の推進

- ・視覚障がいや聴覚障がいのある子どもも楽しめる感覚ウォール等の玩具を取り入れるなど、インクルーシブデザインを取り入れた展示事業を展開します。
- ・こども館宇宙劇場の投影番組に手話映像や字幕を付けた番組を積極的に取り入れます。
- ・当共同事業体のスケールメリットを生かし、イベントの際にボッチャやモルック等のインクルーシブスポーツを取り入れます。



モルック体験

(4)利用者意見等の把握

利用者の声を“大切”に、満足していただける施設をめざします。

- 施設利用者の潜在的なニーズを把握するため様々な手法を活用しご意見・ご要望を収集します。
- いただいたご意見やご要望を分析・改善することにより満足度向上に努めます。
- 施設全体や全職員で共有することにより多様な視点から意見を引き出します。

▶ ア 利用者を対象としたCS調査の実施

- ・施設利用者や事業参加者を対象にCS調査を定期的に実施し、利用者の意見や評価を分析し、よりニーズに沿ったサービスを提供することで施設利用の満足度向上に努めます。
- ・パソコンやスマートフォンから場所や時間にとらわれずに回答できる**デジタルアンケート**を推進し、回答者の負担を軽減して回答率の向上につなげるとともに、アンケートに関する回収、集計までの**コストや時間を削減し、迅速な分析を可能**にします。
- ・調査結果や改善策等については、藤沢市へ報告するとともにホームページに掲載して公開します。

2025年度み特別企画調査アンケート

この度は、「夏休み！子ども館をはじめてご利用いただき、誠にありがとうございます。アンケートにてお聞き取りいたします。

お手数をおかけしてお詫び申しあげます。

● 今回の「夏休み！子ども館をはじめる」の感想をお聞かせください。

○とてもよろしくなった
○おもしろかった
○わくわく
○少しでも好きになった
○わくわく

● 今回の「夏休み！子ども館をはじめる」イベントで、楽しかったものを教えてください。(複数回答可)

○お手伝いややさしさ
○館内サービスやスタッフのいい所(個別に複数回答可)
○お手洗いやトイレ
○施設リノベーション(内装)
○児童館(よみがれ)ルーム(個別に複数回答可)
○施設手帳(おうちのいのちからルーム)
○「強い手握手」(支援費)

デジタルアンケート

▶ イ ホームページでの意見受付やご意見箱の設置

- ・ホームページでの意見受付やご意見箱の設置等により、利用者の意見や要望を広く聴き入れていきます。ご意見やご要望については利用者の視点に立って丁寧に対応し、職員間で共有するとともに、施設運営にとって貴重な財産となるため、記録して**今後の運営に生かして**いきます。

▶ ウ 日常の利用者からの意見の把握

- ・開館時などの利用者の意見や要望を直接聴くことのできる機会には、積極的にコミュニケーションをとり、利用者のニーズの把握に努めます。収集した情報は職員間で共有し、**苦情やトラブルの未然防止**に努めます。

▶ エ 委員会の設置による利用者意見等の把握

- ・施設利用者や地域の代表を委員とした「こども館運営委員会（仮称）」（こども館）及び「市民シアターバー運営委員会（仮称）」（市民シアター）を設置し、事業や運営内容等について様々な意見交換を行い、施設運営に反映していきます。

▶ オ クレームなどへの対応

- ・**クレームは貴重なご意見**と捉え、施設運営の改善に生かします。
- ・利用者の対応については、当共同事業体の「コンプライアンス行動指針」に基づき、相手の立場に立って適切に、そして利用者を待たせず、迅速に対応します。
- ・初期対応した職員が孤立しないよう、バックアップ体制を整え、職員への安全配慮にも努めます。
- ・カスタマーハラスメント対応研修を実施し、利用者に対し適切な対応を図ります。

▶ カ 藤沢市の第三者評価

- ・藤沢市の指定管理者制度では、公正で客観的な第三者評価による藤沢市指定管理者評価委員会評価を実施しています。当該評価により、サービスや業務の評価のみならず、施設管理上の「良い点」、「悪い点」が外部の視点で明らかになります。**利用者サービス向上のための業務改善や管理運営を見つめ直す機会**とし、より良い施設運営につなげていきます。

(1) 施設・設備の維持管理

適切な維持管理を行い、「安全」と「快適」な環境を提供します。

- 関連法令を厳守し、適切な点検を行います。
- 予防保全に努め、施設の老朽化の進行を防ぎます。
- 修繕が必要な個所を特定し、中長期修繕計画を策定します。

① 適切な施設の維持管理

▶ ア 施設・設備の維持管理

- ・ **法令点検**、**日常点検**、**定期点検**により故障等の早期発見、予防保全を行うことで大規模修繕の抑制を図ります。
- ・ 軽微な修繕については職員自ら行い迅速に対応します。
- ・ 利用者への影響は最小限に抑え、**施設の効率化**を図ります。
- ・ 施設利用に大きく影響する**大規模修繕**が必要と考える案件は、藤沢市担当課に速やかに報告し、協議する中で必要な提案を行います。
- ・ 藤沢市が実施する大規模修繕にあたっては、利用者周知をはじめ、必要な連絡調整などに協力します。



設備点検の様子(イメージ)

▶ イ 施設の保守点検

- ・ 各設備の適切な維持管理のためには、**関連法令の遵守**と高度な技術と専門性が必要であり、それぞれの分野において専門的知識、技能を有する専門業者への委託により保守点検を実施します。
- ・ 再委託業者と毎月1回維持管理業務の情報共有を行う**定例会を開催**することで維持管理業務の運営効率化につなげます。



業者との定例会(イメージ)

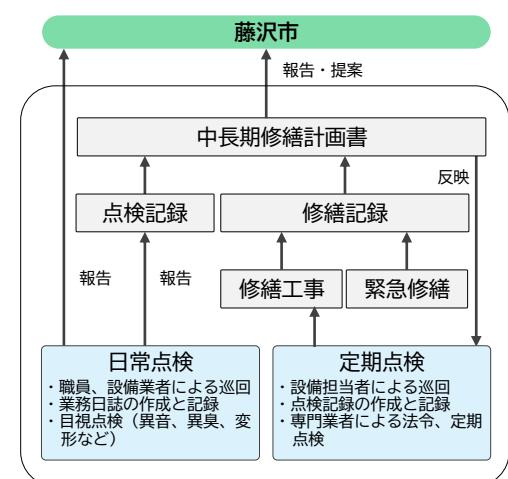
▶ ウ 誰もが安心できる安全の確保

- ・ 「安全」を最優先し、利用者だけでなく従事者の適切な作業環境を確保するため、作業前の安全点検や作業で使用する機器の整備など日常の点検、整備、安全管理を徹底します。
- ・ 再委託業者には安全講習を義務付け、**事故のない施設管理**を目標に業務を行います。



▶ エ 中長期にわたる修繕計画の策定

- ・ 藤沢市湘南台文化センターは、建築から30年以上経過し経年劣化が進んでおり、計画的な修繕を行うことで施設の**長寿命化**を図ります。
- ・ 現状を把握し、安全性や利用者への影響を考慮したうえで、最適な施設や設備の改修等を実施するため優先順位を設け、**中長期にわたる修繕計画を提案**します。



Ⅱ 事業計画書 2 施設の管理

▶ オ 誰もが使いやすく、「安全」かつ「快適」な環境

- ・高齢者や障がいのある方をはじめ、**不特定多数の利用者の安全・安心を確保する**ため、段差の解消や手すりの設置などを取り入れた整備を行います。
- ・社会環境の変化により、利用者ニーズに合わない設備(社会的に劣化した設備)などについて、積極的に改修を行い快適な環境を提供し、利便性を向上します。



② 清掃業務

▶ ア 衛生的で快適な環境づくり

- ・専門的な技術や特殊機械を有する事業者が**日常清掃、定期清掃、特別清掃**を行い施設の美観イメージを向上します。また、窓口や事務所についても整理整頓による業務効率化や、不快感を与えない空間づくりに努めます。
- ・衛生維持はもちろんのこと、施設の劣化防止も含め清掃業務に努めます。
- ・定期的に職員で施設周辺の清掃活動を行い、地域の美化活動に取り組みます。

▶ イ いつもきれいで清潔なトイレ

- ・特にトイレは気持ち良くご利用いただくため、こまめに清掃を行い、清潔さや快適さを保ちます。
- ・イベントや公演時は、巡回の回数を増やし、石けんやトイレットペーパーなどの消耗品を補充しゴミの回収を行います。



藤沢市湘南台文化センターの
トイレ

③ 警備業務

▶ ア 市民の安全確保と施設と財産の保護

- ・施設利用者の安全確保や施設や財産を保護するため、専門知識・技能を持った警備員が適切な警備を行います。
- ・休館日や閉館後の設備異常、火災発生、防犯警備等については警備会社へ機械警備を委託し、安全を確保します。



警備室

④ 植栽管理業務

▶ ア 美しく健康な景観

- ・施設内の植栽については、美しく健康に保ち、施設内を快適で安全に過ごせるよう環境を整備します。
- ・適正な植栽管理を行うことにより、自然に親しみ触れられる、心地のよい空間を提供します。



回遊庭園植栽

(1)防犯・防災対策

安全・安心な施設運営のための防犯・防災対策に取り組みます。

- 藤沢市の防犯ガイドラインと防災計画に準じたマニュアルを策定します。
- 警察や消防などと連携した取組を継続して実施し、併せて市民へ啓発を行います。
- 緊急時を想定した訓練を継続的に実施し、万全を期した体制を維持します。

①防犯対策

▶ ア 藤沢市のガイドラインに基づく防犯への取組

- ・「藤沢市公共施設等に関する防犯上のガイドライン」に準じ、犯罪の起ころににくい施設管理に取り組みます。
- ・施設内の巡回・点検を日常的に実施し、犯罪や事故の防止に取り組みます。
- ・夜間等の閉館時については、警備会社へ機械警備を委託し、事件発生時の対応や通報・連絡体制を整備することで犯罪防止の強化を図ります。
- ・こども館では、**常時インフォメーション及び各フロアに職員を配置**するとともに防犯ブザーを設置し、不審者等の侵入の防止に努めます。
- ・市民シアターでは、受付に防犯ブザー、防犯用カラーボールを常備するとともに防犯ミラーを設置し、ホール主催者との打合せ時には、防犯意識を持っていただくよう注意喚起し、協力を求めます。



防犯ブザー



カラーボール

▶ イ 警察と連携した防犯への取組

- ・定期的な施設や設備の安全点検とともに、不定期な施設巡回を再委託業者の警備員が行い、不審者や不審物を発見した場合には来館者の安全を確保した上で、警察に即時通報します。
- ・不審者目撃の情報提供や施設へのいたずら被害などがあった際には、職員の判断だけで処理せず、必要に応じて警察へ通報し、協力を要請します。

②防災への取組と対策

▶ ア 消防・防災計画に基づいた訓練や点検の実施

- ・消防計画に基づき、消防訓練を実施します。消防の普通救命講習への参加や地震・火災発生を想定した避難誘導訓練を実施します。
- ・災害発生時に、施設で迅速かつ適切な対応ができるよう、甲種防火管理の有資格者である施設長を防火・防災管理者とし、自衛消防団を編成します。
- ・大地震発生時には、管理マニュアルに基づき、職員が危機管理体制をとるとともに、地震情報を速やかに入手し、来館者の安全を確保します。
- ・市民シアターの公演中に地震や火災が起きた想定で、来場者にも避難訓練にご参加いただく「**避難訓練コンサート**」を実施します。いざというときのために災害の心構えを参加者とともに考え、訓練後は演奏をお楽しみいただきます。

Ⅱ事業計画書 3 危機管理体制

防火管理者		職名：湘南台文化センター長	
防火担当責任者		火元責任者	
担当区域	組織職名等	担当区域	組織職名等
湘南台市民センター	湘南台市民センター長	市民センター事務所/ B 1 F 公民館/ B 2 F 体育室	湘南台市民センター職員
こども館	こども館長	こども館事務所/ワークショップ/インフォメーション/ B 1 F 展示室/円環ギャラリー/ 宇宙劇場	こども館職員
子育て支援センター	湘南台文化センター長	子育て支援センター	子育て支援センター職員
市民シアター	市民シアター長	シアター事務室/ホール/シアター B 1 F	市民シアター職員
地下 2 F 設備	総合維持管理業者	地下駐車場/保安室/中央監視室/機械室等	総合維持管理業者職員
2 F 福祉事務室	社会福祉法人光友会 相談室長	北部総合福祉相談室/外国人相談室	社会福祉法人光友会職員

日常火災予防の担当者

防火管理者

- ・防火管理業務の統括責任者
- ・防火担当責任者と火元責任者に対し指導監督を行う。

防火担当責任者

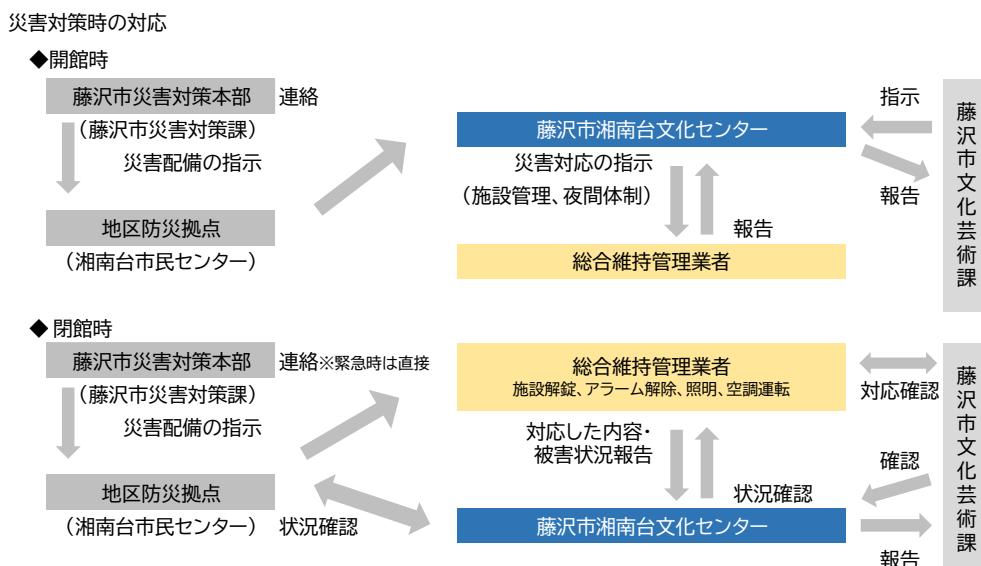
- ・担当区域の火災予防に責任を持つとともに、火元責任者に対し指導監督を行う。
- ・防火管理者の補佐を行う。

火元責任者

- ・火災予防について、保安担当者の自主検査で問題があれば速やかに是正し、困難な場合は防火管理者に報告する。

▶イ 災害発生時の対応

- ・湘南台市民センターが地区防災拠点本部となっていることから、帰宅困難者や避難者の受入れを想定し、来訪者及び当施設の職員の人数に対応した数量の飲料水と非常食等の備蓄を行います。
- ・気象警報発令時やその他の災害の発生が予想される場合は、**藤沢市防災配備態勢に準じ、当共同事業体も配備態勢を敷き**、利用者や市民の安全を確保するとともに、施設の維持管理に努めます。



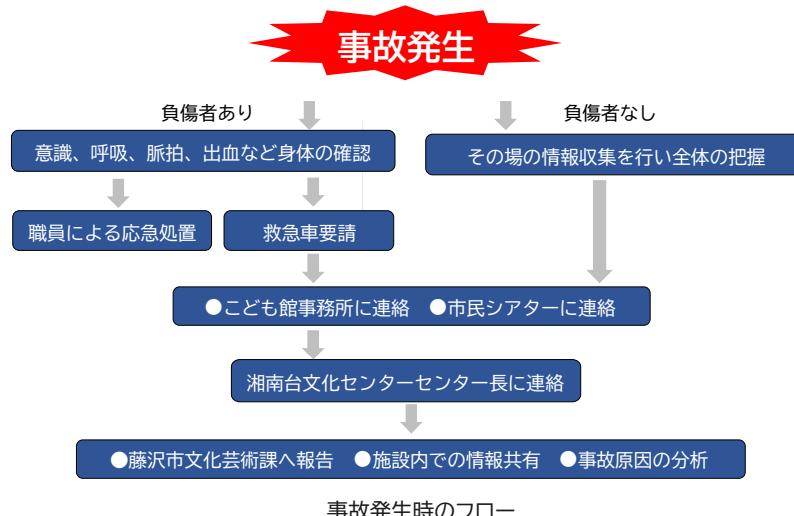
(2)緊急時の対応

一刻を争う事態に、職員一人ひとりが対応できる万全な準備を整えます。

- 事故や急病による傷病者の処置を迅速に行います。
- AEDや救護用資器材を管理し、いざという時に最善の対応に努めます。
- 災害時に対応できるように、職員の連携が適切に取れるようにします。

①事故や急病などの緊急時の対応

- ・事故による負傷者や急病人が発生した際には、ただちに必要な応急手当を実施し、救急車の要請や避難誘導にあたるなど、マニュアルに基づき迅速な初期対応を行います。また、速やかに藤沢市へ事故報告するとともに、事故原因を分析し、事故の再発防止に努めます。
- ・いざというときに適切に対応できるよう**職員全員が普通救命講習を受講**し、心肺蘇生やAEDの知識や技術を身につけます。
- ・緊急事態発生時には、二次事故の防止を意識し、応急手当などに努めます。



②災害発生時(緊急時)の対応

- ・施設開館中に災害が発生した場合は避難誘導マニュアルにしたがって行動し、利用者の安全を確保します。
- ・各施設の状況を藤沢市へ報告するとともに、情報収集にあたり、各施設と連携を図り対策を講じます。
- ・災害の状況により、マニュアルに基づき、職員が危機管理体制をとるとともに、災害情報を速やかに入手し、利用者の安全を確保します。
- ・災害時に活用できる資材リストを作成しており、緊急時に関係機関からの資材提供の依頼があった場合は迅速に対応します。
- ・台風等の災害時には、**藤沢市防災配備体制に準じて**対応します。

③補償体制

- ・業務遂行又は管理上の不備などに起因する傷害事故や財物破壊が発生し、法律上の損害賠償責任が生じた場合に備え、**指定管理者賠償責任保険**に加入します。

(1) 人員体制

それぞれの分野を得意とする藤沢市の外郭団体が共同事業体を構成し、それぞれの特色を生かします。

- 専門知識のある職員を適材適所に配置し、施設の持つ機能を最大限に発揮します。
- 適正な人員配置をし、安心・安全に利用できる施設づくりに努めます。
- 職員一人ひとりのスキルアップにより、組織を活性化させ運営の質を向上します。

① 職員配置

▶ ア 人員体制

- ・ 専門知識、技術、資格を有した職員を配置します。運営に係わる職員として、受付、事務員のほか、こども館のワークショップ担当、展示担当、宇宙劇場担当、市民シアターの舞台担当、照明担当、音響担当の職員を配置します。



▶ イ 有資格者の配置

- ・ 業務に応じて必要な資格を取得し、市民が安全・安心・快適・満足して利用できるよう努めます。
- ・ 職員の資格取得を支援し、業務に必要な専門的知識を持った職員を配置します。

資格の種別(例)

【こども館】

学芸員、小中高等学校教員免許、甲種防火管理者、普通救命講習ほか

【市民シアター】

舞台技術者、照明技術者、音響技術者、16mm映写技術者、甲種防火管理者、普通救命講習ほか

▶ ウ 研修計画

- ・ 人材育成においては、採用時から管理監督者まで経験年数や階層に応じた研修を体系化し、基本研修・専門研修・マネジメント研修が効率的・効果的に受講できるように努めるとともに、業務に必要な専門的知識・技術を身につける機会を確保します。



接遇研修

Ⅱ事業計画書 4 人員体制・経費

②職員研修

▶ ア 共同事業体代表団体: (公財)藤沢市みらい創造財団

研修名	実施回数	対象
財団新規採用職員研修	年1回	新採用職員
事業課間研修	各事業課1回	新採用職員、採用5年目及び10年の職員
藤沢市新採用研修 前期・後期研修	前期7回程度 後期5回程度	新採用職員
藤沢市一般職員一部研修	年7回程度	採用3年目事務職員
藤沢市一般職員二部研修	年7回程度	採用5~6年目事務職員
藤沢市監督者一部研修	年4回程度	主査昇任者
藤沢市監督者二部研修	年5回程度	上級主査昇任者
管理職研修・人事評価課研修	年1回	課長補佐昇任者
上級主査以下研修・人事評価課研修	年1回	上級主査以下の職員

研修名	実施回数	対象
公益法人・一般法人会計研修	年1回	経理担当者
公益法人・公益法人会計の理解促進研修	年1回	採用5~10年目の職員及び主任級職員
総括管理委員会フィジカルヘルス分科会主催研修	年1回	全職員
広報・CI活動推進委員会スキルアップ研修	年2回	広報担当者他
eラーニング研修(オンデマンド視聴研修)	一定期間を定めて対象者が受講	新採用職員、主査以上の昇任者
リスクアセスメント研修	年1回	総括管理委員
Adobe Illustrator基礎セミナー	年2回	希望職員
全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会	年4回程度	希望職員

▶ イ 共同事業体構成団体: (公財)藤沢市まちづくり協会

研修名	実施回数	対象
財団新規採用職員研修	年1回	新採用職員
藤沢市新採用研修 前期・後期研修	前期7回程度 後期5回程度	新採用職員
藤沢市一般職員一部研修	年7回程度	採用3年目職員
藤沢市一般職員二部研修	年7回程度	採用5~6年目職員
藤沢市監督者一部研修	年4回程度	主査昇任者
藤沢市監督者二部研修	年5回程度	上級主査昇任者
eラーニング研修(オンデマンド視聴研修)	一定期間を定めて対象者が受講	全正規職員

研修名	実施回数	対象
情報セキュリティ研修	年1回	全職員
接遇研修	年2回	全職員
危機管理研修	年1回	全職員
リーダー研修	必要時	上級主査以下の職員
ボランティアマネジメント研修	必要時	全職員
個人情報保護及び情報公開研修	年1回	全職員
公益法人定例講座	年12回	総務担当者

II事業計画書 4 人員体制・経費

(2)収支予算書

自主財源を確保し、経費の適切な執行に努めます。

①5か年の収支予算

藤沢市湘南台文化センター指定管理 収支計画書

科 目	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	備考	単位:円
	合計	合計	合計	合計	合計		
指定管理料収入	299,730,000	299,730,000	299,730,000	299,730,000	299,730,000	藤沢市からの指定管理料	
利用料金収入	51,500,000	51,750,000	52,000,000	52,250,000	52,500,000		
施設利用料収入	47,500,000	47,750,000	48,000,000	48,250,000	48,500,000	施設利用収入	
駐車場使用料収入	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000	駐車場利用収入	
自主事業収入	14,500,000	15,054,000	15,620,000	16,295,000	16,959,000		
企画事業収入	13,000,000	13,279,000	13,570,000	13,970,000	14,459,000	公演チケット代、ワークショップ参加費等	
物品販売事業収入	1,000,000	1,150,000	1,300,000	1,450,000	1,500,000	物品販売、自販機手数料等	
その他事業収入	500,000	625,000	750,000	875,000	1,000,000	チケット販売委託手数料、CMスポンサー料、チラシ折込手数料等	
助成金	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	芸術文化/舞台芸術関連助成金	
雑収入	400,000	500,000	600,000	600,000	600,000	電気代実費立替分、ロケ地使用料、利息収入等	
他会計繰入金	6,440,000	6,498,000	6,560,000	6,623,000	6,689,000		
合計	373,070,000	374,032,000	375,010,000	375,998,000	376,978,000		

科 目	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	備考	単位:円
	合計	合計	合計	合計	合計		
人件費支出	137,790,000	138,752,000	139,730,000	140,718,000	141,698,000		
給料手当支出	120,770,000	121,609,000	122,462,000	123,323,000	124,178,000	常勤職員、臨時職員(給与、各種手当等)	
福利厚生費支出	17,020,000	17,143,000	17,268,000	17,395,000	17,520,000	常勤職員、臨時職員法定福利費等	
旅費交通費支出	231,000	231,000	231,000	231,000	231,000	職員旅費	
通信運搬費支出	685,000	685,000	685,000	685,000	685,000	ネット電話代、郵送料等	
消耗品費支出	6,246,000	6,246,000	6,246,000	6,246,000	6,246,000	事務消耗品等	
修繕費支出	8,800,000	8,800,000	8,800,000	8,800,000	8,800,000	施設・設備修繕等	
印刷製本費支出	836,000	836,000	836,000	836,000	836,000	パンフ・チラシ・ポスター印刷費等	
食糧費支出	73,000	73,000	73,000	73,000	73,000	事業協力者賄代等	
燃料費支出	152,000	152,000	152,000	152,000	152,000	公用車ガソリン代	
光熱水費支出	49,200,000	49,200,000	49,200,000	49,200,000	49,200,000	電気、ガス、上下水道代	
使用料及び賃借料支出	18,550,000	18,550,000	18,550,000	18,550,000	18,550,000	券売機リース、事務機器リース料	
保険料支出	1,203,000	1,203,000	1,203,000	1,203,000	1,203,000	動産保険・賠償責任保険	
諸謝金支出	1,261,000	1,261,000	1,261,000	1,261,000	1,261,000	レセプショニスト、事業協力者謝礼等	
租税公課支出	11,449,000	11,449,000	11,449,000	11,449,000	11,449,000	納付消費税、契約用收入印紙代等	
負担金支出	275,000	275,000	275,000	275,000	275,000	博物館協会等会費、各種研修会参加費等	
委託費支出	121,693,000	121,693,000	121,693,000	121,693,000	121,693,000	施設管理、プラネ番組制作、舞台関係保守等	
手数料支出	3,696,000	3,696,000	3,696,000	3,696,000	3,696,000	振込手数料、クリーニング、ドメイン使用料	
広告料支出	640,000	640,000	640,000	640,000	640,000	地域紙・雑誌広告掲載料	
小計	362,780,000	363,742,000	364,720,000	365,708,000	366,688,000		
諸経費	10,290,000	10,290,000	10,290,000	10,290,000	10,290,000	本部経費	
合計	373,070,000	374,032,000	375,010,000	375,998,000	376,978,000		

Ⅱ事業計画書 4 人員体制・経費

②各構成団体の配分

藤沢市湘南台文化センター指定管理 収支計画書(構成団体別)

1. 収入

単位:円

科 目	令和8年度			令和9年度			令和10年度		
	みらい財団	まちづくり協会	合計	みらい財団	まちづくり協会	合計	みらい財団	まちづくり協会	合計
指定管理料収入	175,620,000	124,110,000	299,730,000	175,620,000	124,110,000	299,730,000	175,620,000	124,110,000	299,730,000
利用料金収入	16,500,000	35,000,000	51,500,000	16,500,000	35,250,000	51,750,000	16,500,000	35,500,000	52,000,000
施設利用料収入	12,500,000	35,000,000	47,500,000	12,500,000	35,250,000	47,750,000	12,500,000	35,500,000	48,000,000
駐車場使用料収入	4,000,000	0	4,000,000	4,000,000	0	4,000,000	4,000,000	0	4,000,000
自主事業収入	8,300,000	6,200,000	14,500,000	8,654,000	6,400,000	15,054,000	9,020,000	6,600,000	15,620,000
企画事業収入	7,500,000	5,500,000	13,000,000	7,654,000	5,625,000	13,279,000	7,820,000	5,750,000	13,570,000
物品販売事業収入	500,000	500,000	1,000,000	600,000	550,000	1,150,000	700,000	600,000	1,300,000
その他事業収入	300,000	200,000	500,000	400,000	225,000	625,000	500,000	250,000	750,000
助成金	500,000	0	500,000	500,000	0	500,000	500,000	0	500,000
雑収入	200,000	200,000	400,000	300,000	200,000	500,000	400,000	200,000	600,000
他会計繰入金	0	6,440,000	6,440,000	0	6,498,000	6,498,000	0	6,560,000	6,560,000
合計	201,120,000	171,950,000	373,070,000	201,574,000	172,458,000	374,032,000	202,040,000	172,970,000	375,010,000

2. 支出

単位:円

科 目	令和8年度			令和9年度			令和10年度		
	みらい財団	まちづくり協会	合計	みらい財団	まちづくり協会	合計	みらい財団	まちづくり協会	合計
人件費支出	34,937,000	102,853,000	137,790,000	35,391,000	103,361,000	138,752,000	35,857,000	103,873,000	139,730,000
給料手当支出	29,976,000	90,794,000	120,770,000	30,366,000	91,243,000	121,609,000	30,767,000	91,695,000	122,462,000
福利厚生費支出 (うち協会福利厚生費)	4,961,000 (0)	12,059,000 (203,000)	17,020,000 (203,000)	5,025,000 (0)	12,118,000 (203,000)	17,143,000 (203,000)	5,090,000 (0)	12,178,000 (203,000)	17,268,000 (203,000)
旅費交通費支出	55,000	176,000	231,000	55,000	176,000	231,000	55,000	176,000	231,000
通信運搬費支出	429,000	256,000	685,000	429,000	256,000	685,000	429,000	256,000	685,000
消耗品費支出	990,000	5,256,000	6,246,000	990,000	5,256,000	6,246,000	990,000	5,256,000	6,246,000
修繕費支出	6,600,000	2,200,000	8,800,000	6,600,000	2,200,000	8,800,000	6,600,000	2,200,000	8,800,000
印刷製本費支出	396,000	440,000	836,000	396,000	440,000	836,000	396,000	440,000	836,000
食糧費支出	51,000	22,000	73,000	51,000	22,000	73,000	51,000	22,000	73,000
燃料費支出	99,000	53,000	152,000	99,000	53,000	152,000	99,000	53,000	152,000
光热水費支出	49,200,000	0	49,200,000	49,200,000	0	49,200,000	49,200,000	0	49,200,000
使用料及び賃借料支出	396,000	18,154,000	18,550,000	396,000	18,154,000	18,550,000	396,000	18,154,000	18,550,000
保険料支出	495,000	708,000	1,203,000	495,000	708,000	1,203,000	495,000	708,000	1,203,000
諸謝金支出	297,000	964,000	1,261,000	297,000	964,000	1,261,000	297,000	964,000	1,261,000
租税公課支出	2,200,000	9,249,000	11,449,000	2,200,000	9,249,000	11,449,000	2,200,000	9,249,000	11,449,000
負担金支出	165,000	110,000	275,000	165,000	110,000	275,000	165,000	110,000	275,000
委託費支出	99,000,000	22,693,000	121,693,000	99,000,000	22,693,000	121,693,000	99,000,000	22,693,000	121,693,000
手数料支出	550,000	3,146,000	3,696,000	550,000	3,146,000	3,696,000	550,000	3,146,000	3,696,000
広告料支出	310,000	330,000	640,000	310,000	330,000	640,000	310,000	330,000	640,000
小計	196,170,000	166,610,000	362,780,000	196,624,000	167,118,000	363,742,000	197,090,000	167,630,000	364,720,000
諸経費	4,950,000	5,340,000	10,290,000	4,950,000	5,340,000	10,290,000	4,950,000	5,340,000	10,290,000
合計	201,120,000	171,950,000	373,070,000	201,574,000	172,458,000	374,032,000	202,040,000	172,970,000	375,010,000

II 事業計画書 4 人員体制・経費

②各構成団体の配分

1. 収入

単位:円

科 目	令和11年度			令和12年度			合 計		
	みらい財団	まちづくり協会	合計	みらい財団	まちづくり協会	合計	みらい財団	まちづくり協会	合計
指定管理料収入	175,620,000	124,110,000	299,730,000	175,620,000	124,110,000	299,730,000	878,100,000	620,550,000	1,498,650,000
利用料金収入	16,500,000	35,750,000	52,250,000	16,500,000	36,000,000	52,500,000	82,500,000	177,500,000	260,000,000
施設利用料収入	12,500,000	35,750,000	48,250,000	12,500,000	36,000,000	48,500,000	62,500,000	177,500,000	240,000,000
駐車場使用料収入	4,000,000	0	4,000,000	4,000,000	0	4,000,000	20,000,000	0	20,000,000
自主事業収入	9,495,000	6,800,000	16,295,000	9,959,000	7,000,000	16,959,000	45,428,000	33,000,000	78,428,000
企画事業収入	8,095,000	5,875,000	13,970,000	8,459,000	6,000,000	14,459,000	39,528,000	28,750,000	68,278,000
物品販売事業収入	800,000	650,000	1,450,000	800,000	700,000	1,500,000	3,400,000	3,000,000	6,400,000
その他事業収入	600,000	275,000	875,000	700,000	300,000	1,000,000	2,500,000	1,250,000	3,750,000
助成金	500,000	0	500,000	500,000	0	500,000	2,500,000	0	2,500,000
雑収入	400,000	200,000	600,000	400,000	200,000	600,000	1,700,000	1,000,000	2,700,000
他会計繰入金	0	6,623,000	6,623,000	0	6,689,000	6,689,000	0	32,810,000	32,810,000
合計	202,515,000	173,483,000	375,998,000	202,979,000	173,999,000	376,978,000	1,010,228,000	864,860,000	1,875,088,000

2. 支出

単位:円

科 目	令和11年度			令和12年度			合 計		
	みらい財団	まちづくり協会	合計	みらい財団	まちづくり協会	合計	みらい財団	まちづくり協会	合計
人件費支出	36,332,000	104,386,000	140,718,000	36,796,000	104,902,000	141,698,000	179,313,000	519,375,000	698,688,000
給料手当支出	31,175,000	92,148,000	123,323,000	31,574,000	92,604,000	124,178,000	153,858,000	458,484,000	612,342,000
福利厚生費支出 (うち協会福利厚生費)	5,157,000 (0)	12,238,000 (203,000)	17,395,000 (203,000)	5,222,000 (0)	12,298,000 (203,000)	17,520,000 (203,000)	25,455,000 (0)	60,891,000 (1,015,000)	86,346,000 (1,015,000)
旅費交通費支出	55,000	176,000	231,000	55,000	176,000	231,000	275,000	880,000	1,155,000
通信運搬費支出	429,000	256,000	685,000	429,000	256,000	685,000	2,145,000	1,280,000	3,425,000
消耗品費支出	990,000	5,256,000	6,246,000	990,000	5,256,000	6,246,000	4,950,000	26,280,000	31,230,000
修繕費支出	6,600,000	2,200,000	8,800,000	6,600,000	2,200,000	8,800,000	33,000,000	11,000,000	44,000,000
印刷製本費支出	396,000	440,000	836,000	396,000	440,000	836,000	1,980,000	2,200,000	4,180,000
食糧費支出	51,000	22,000	73,000	51,000	22,000	73,000	255,000	110,000	365,000
燃料費支出	99,000	53,000	152,000	99,000	53,000	152,000	495,000	265,000	760,000
光熱水費支出	49,200,000	0	49,200,000	49,200,000	0	49,200,000	246,000,000	0	246,000,000
使用料及び賃借料支出	396,000	18,154,000	18,550,000	396,000	18,154,000	18,550,000	1,980,000	90,770,000	92,750,000
保険料支出	495,000	708,000	1,203,000	495,000	708,000	1,203,000	2,475,000	3,540,000	6,015,000
諸謝金支出	297,000	964,000	1,261,000	297,000	964,000	1,261,000	1,485,000	4,820,000	6,305,000
租税公課支出	2,200,000	9,249,000	11,449,000	2,200,000	9,249,000	11,449,000	11,000,000	46,245,000	57,245,000
負担金支出	165,000	110,000	275,000	165,000	110,000	275,000	825,000	550,000	1,375,000
委託費支出	99,000,000	22,693,000	121,693,000	99,000,000	22,693,000	121,693,000	495,000,000	113,465,000	608,465,000
手数料支出	550,000	3,146,000	3,696,000	550,000	3,146,000	3,696,000	2,750,000	15,730,000	18,480,000
広告料支出	310,000	330,000	640,000	310,000	330,000	640,000	1,550,000	1,650,000	3,200,000
小計	197,565,000	168,143,000	365,708,000	198,029,000	168,659,000	366,688,000	985,478,000	838,160,000	1,823,638,000
諸経費	4,950,000	5,340,000	10,290,000	4,950,000	5,340,000	10,290,000	24,750,000	26,700,000	51,450,000
合計	202,515,000	173,483,000	375,998,000	202,979,000	173,999,000	376,978,000	1,010,228,000	864,860,000	1,875,088,000

(3) 効率的な運営

ICTの推進やエネルギー・マネジメントによる持続可能な施設運営をめざします。

- ICTの活用を積極的に進めることで、利便性の向上に努めます。
- エネルギーマネジメントにより、光熱水量費の縮減に努めます。
- 経費を縮減するための取組を通じて、運営の効率化を図ります。

① ICTの推進

- ・ クラウド型勤怠管理をはじめとした労務管理、経理処理などにシステムを導入することにより、業務の縮減、効率化を図ります。また、会議には積極的にZoom等のweb会議ツールを利用することにより、業務の効率化とともに旅費などの経費を縮減します。
- ・ 定例業務のマニュアル化、受付窓口業務をフロー化し、可視化するほか、グループウェアの活用による共有化を行うことにより効率化を図ります。
- ・ オンラインチケットサービス(申込・決済)を導入、公演などは申込フォームを利用することにより、利用者の利便性向上、個人情報管理の安全性確保に加え、申込受付や現金収納管理(オンラインチケットサービス)に係る業務を縮減し、その効率化を図ります。

② エネルギーマネジメントの検討と経費縮減

- ・ 蛍光灯からLED照明の導入を進めます。
- ・ ESCO事業の活用を検討し導入することで、電気・ガスの光熱水量費を縮減するとともに環境にも配慮します。



一般社団法人
ESCO・エネルギー・マネジメント推進協議会
Japan Association of Energy Service Companies : JAESCO

③ その他の取組

▶ ア 広報活動での経費縮減

- ・ 広報宣伝を行う際にホームページやSNSを積極的に活用することで、チラシやポスター等の印刷代を縮減します。
- ・ 地域紙やweb情報誌、記者クラブ等へ積極的に情報提供を行い、記事としてとりあげてもらうことで、広告掲載料を縮減します。

▶ イ 施設管理の経費縮減

- ・ 職員の専門性を生かし、小規模の修繕については、外部発注だけではなく、職員自らで対応することにより修繕費の縮減を図ります。

▶ ウ 協働事業の実施による副次的な経費縮減

- ・ 自主事業等を市民、地域の団体や企業の方々との協働により実施し講師謝礼金等の縮減を図ります。
- ・ 自然科学系の博物館との連携や自然系の地域活動団体等との協働による事業だけでなく、神奈川県博物館協会の様々な加盟館園と連携を図ることで委託費や賃借料の縮減を図ります。

▶ エ ボランティアとの連携による効率的な運営

- ・ 専門知識を有する個人や団体等のボランティアを講師とした講座や事業運営補助として市内の大学や高校などに学生ボランティアを依頼することで、地域や関係団体、学校との連携を深めます。積極的にボランティアの参加を呼び掛けることは、様々な方とつながりができる一方で、経費の縮減という副次的な効果もあります。

▶ オ 共同事業体の利点を生かした柔軟な執行体制による経費縮減

- ・ 各施設の利用状況に合わせて、職員が職場の枠にとらわれずフレキシブルに対応することで、効率的な運営を実現し経費縮減を図ります。

(1)情報の管理体制

情報について適切な管理を行い、個人情報保護に努めます。

- 情報のデジタル化やシステム管理を進め、物理的対策により情報漏洩や紛失等を防止します。
- 個人情報管理者を配置し、適正かつ厳格に個人情報を取り扱います。

①情報の管理体制

- ・職員を対象にした情報セキュリティ研修を実施し、情報管理の意識と行動を徹底するとともに、情報のデジタル化やシステム管理を進め、**物理的対策により情報漏洩や紛失などを防止**し、適切な情報管理を図ります。
- ・業務上の文書については、「藤沢市公文書等の管理に関する条例」に基づき、適正に作成、管理し、文書保存にあたっては藤沢市で運用するファイリングシステムに準拠し、適切に保存します。

②情報公開

- ・情報公開については、「**藤沢市情報公開条例**」や各構成団体の「**情報公開規程**」を遵守し、保有する情報は公開を原則とし、非公開とする情報は適切かつ必要最小限にとどめ、情報公開請求の諾否決定などについては、これらの規程に基づき、適正に取り扱います。

③個人情報保護

- ・個人情報保護の責任体制として、**個人情報管理者を選任**し、適正かつ厳格に個人情報を取り扱い、紛失や改ざん、漏えいなどを防止します。また、個人情報管理責任者の下で、現場には個人情報管理補助者を選任し、個人情報の保護に努めています。
- ・責任の所在を明確にし、組織としての体制を強化するため、**全職員を対象とした研修(年1回以上)を実施**します。また、委託会社との契約書には、「藤沢市個人情報の保護に関する法律の施行等に関する条例」に従い個人情報を保護する条項を規定し対応します。
- ・業務上の文書やマイナンバーなどは適正に管理し、退職した職員に対しても守秘義務を課します。
- ・万が一の漏えいの際には「個人情報取扱事業者保険」により対応し、賠償責任や各種対応費用に備えます。



個人情報に関する研修を実施

④情報セキュリティ対策

- ・パソコンアクセスはICカード等による承認等を用い、メールで送付する場合、個人情報を含むデータについてはパスワードを設定します。また、パスワードは、**個人情報管理者が適切に管理**します。
- ・USBなどの記録媒体については使用制限をかけ、保存場所についても施錠管理を確実に行い、使用した者が分かるように管理簿を常備します。



パソコンのセキュリティ
(ICカード承認)

(2) 環境への配慮

事業に5つのRを取り入れ、環境への理解と配慮に努めます。

- 「藤沢市地球温暖化対策実行計画」に基づき、事業に5つのRを取り入れます。
- 「2050年ゼロカーボンCityふじさわ」の実現をめざし、二酸化炭素排出の削減に努めます。
- “緑のカーテン”運動により、温暖化防止と景観向上を図ります。

①環境への理解と配慮

▶ ア 「5つのR」に基づく資源循環型運営の徹底

- ・「藤沢市地球温暖化対策実行計画」に明記されている循環型社会の形成の理念に基づき、**「5つのR」を事業運営に組み込みます。**
- ・チラシやパンフレットなどの印刷物は必要な分のみ印刷し、電子配布や二次元コード活用によるデジタル閲覧を推進します。これにより、紙の使用と印刷にかかるエネルギーを削減します。
- ・展示パネルや照明機材、音響設備などは、買い替え前に修理・部品交換を優先し、廃棄物の発生を最小限に抑えます。
- ・館内に資源回収拠点を設け、分別表示を多言語化して来館者にも協力を促すことで再資源化率を高めます。これらの取組により、運営コスト削減だけでなく、施設自体が資源循環のモデルケースとなり、市民の行動変容にもつなげます。



▶ イ 「2050年ゼロカーボンCityふじさわ」実現に向けたCO₂削減施策

- ・藤沢市が掲げる「2050年ゼロカーボンCityふじさわ」の実現に向け、**施設運営における二酸化炭素排出量の低減を計画的に推進します。**
- ・公用車の使用時にはアイドリングストップを徹底し、燃料消費とCO₂排出の削減を図ります。
- ・照明・空調は利用時間や季節変動に合わせて適正化し、未使用エリアの電力消費を抑制し省エネ運用の最適化を図ります。
- ・Zoom等のWeb会議ツールの活用により、不要な車両移動を削減し、運営の低炭素化を進め、移動の削減と業務効率化を図ります。これらの施策は、市の温室効果ガス削減目標(2030年度まで2013年度比46%削減)に沿ったものです。
- ・電力購入契約については、100%再生可能のエネルギー由来の電力を使用する事業者と契約し、環境への配慮に取り組みます。

▶ ウ “緑のカーテン”と屋上緑化による温暖化防止と景観向上

- ・藤沢市が推進する“緑のカーテン”運動に賛同し、**施設の外観・屋上を活用した緑化事業を継続的に実施します。**
- ・夏季には窓辺にゴーヤやアサガオなどのつる性植物のグリーンカーテンを設置することで、直射日光を遮り室温上昇を抑制します。これにより空調負荷の低減と省エネ効果を実現します。
- ・断熱性能の向上、ヒートアイランド現象の緩和を目的に屋上緑化を推進します。



グリーンカーテン

(3)人権施策への理解

人権を大切にし、「人権文化」を守るための施設運営を行います。

- ともに支えあい、ともに生きる社会の構築に寄与するよう努めます。
- 多様な主体と協力し、人権課題の解決に向けた施策を推進します。

- ・人権を取り巻く社会情勢は大きく変化し、人権に関する新たな課題も生じている状況を踏まえ、様々な人権問題を抱える市民がいることを知り、理解し、**誰もが利用しやすい優しい施設づくり**を推進します。
- ・差別を認識して、正しい知識を持ち、一緒に考えながら、状況に配慮したサービスを提供します。
- ・人権擁護の観点からも、個人情報の漏えいがないように十分留意し、適切な保護、管理を行います。
- ・「藤沢市人権施策推進指針」〈改訂版〉を基に、一人ひとりの市民が尊重され、ともに生きるまちづくりに向けた社会の構築に寄与します。



藤沢市人権施策推進指針改訂版

(4)障がいを理由とする差別の解消の推進

障がい者が感じる物理的・心理的な障壁について、合理的配慮を行います。

- 社会的障壁の除去のため、対応を行います。
- 「誰ひとり取り残さないまち」の観点から、様々なことに取り組みます。

①障害者差別解消法及び藤沢市の対応要領の理解

- ・「障害者差別解消法」等に基づき、障がいがあることを理由にした**「不当な差別的取扱い」を禁止し、障がい者が感じる物理的・心理的な障壁について、合理的配慮**を行います。そして、障がいのある・なしに関わらず、誰もがお互いを理解し合い、共生社会の実現を図ります。全職員「合理的配慮は義務」であることを徹底します。

②具体的な合理的配慮(社会的障壁の除去)

- ・車椅子の方向けの駐車スペースや多目的トイレを確保するとともに、車椅子の方の目線や手の届く範囲を意識した位置に案内の掲示、パンフレット等を配架します。
- ・聴覚障がいの方などが、窓口で受付や申し込みが必要な場合には、**筆談機器の活用や代筆**を行い、親切丁寧に手続きを補助します。また、連絡などのやり取りが必要な場合には、電子メールやFAXを活用して対応します。
- ・利用されるすべての方に快適で安心できる環境を提供するため、できる限りのバリアフリー化に対応します。
- ・そのほか、社会的障壁の除去を必要としている意思表明があった場合には、**実施に伴う負担が過重とならない範囲ですべて対応**します。負担が大きく、対応が困難な場合には、その理由を丁寧に説明します。

③インクルーシブ藤沢の観点による取組

- ・「誰ひとり取り残さないまち」の観点から、国籍、年齢、性別、障がいの有無に関わらず誰でも参加できる主催事業を積極的に展開します。
- ・市民シアターや宇宙劇場での公演事業において、補聴器等を使用する方のきこえを補助する**ヒアリングループ**、上演中触ることでリラックスできる**フィジエット・トイ**や**イヤーマフ**を配置します。
- ・車椅子でも利用がしやすいテーブルやベビーカー置き場など**インクルーシブ施設**としての整備に取り組みます。
- ・市民シアターでは、**障がい者の方も気軽に鑑賞できる公演等を定期的に実施**し、文化芸術に親しむ機会の拡大を推進します。また、親子室はどなたでもご利用いただけるよう、環境を整え開放します。
- ・バリアフリー自動販売機や授乳室、ピクトグラムの案内板や多言語翻訳機を設置するなど、施設のバリアフリー化を図ることで、こどもから高齢者まで、そしてハンディキャップの有無に関わらず**誰もが利用しやすい優しい施設づくり**を推進します。



市民シアター親子室の開放

(5)暴力団排除への対応

安全・安心な施設運営を徹底します。

- 暴力団排除条例を遵守し、反社会的勢力との関与を一切排除します。
 - 利用規約や委託契約に暴力団排除条項を明記します。
- ・「藤沢市暴力団排除条例」を遵守し、各機関と連携し「暴力団を恐れず・協力せず・利用せず」といった暴力団排除の推進に積極的に取り組みます。
 - ・組織体制、防止措置、対処方法等についての必要な事項を定めた「不当行為等対応マニュアル」に基づき、適正に対応します。
 - ・「暴力団排除に関する規程」や「不当行為等の対策に関する要綱」における基本的理念に基づき、組織で厳格に対応します。
 - ・運営管理総括責任者を不当要求防止責任者として選任し、(公財)神奈川県暴力追放推進センターが主催する講習を受講し、暴力団に関する情報、対応要領等について各職員に伝え、適切な対応をします。
 - ・**利用規約や委託契約に暴力団排除条項を明記**するとともに、職員研修や通報体制の整備を行い、安全安心な施設運営を徹底します。

(1)関係団体との協働・連携

相互に高めあう連携で、強固な関係を構築します。

- 関係団体と連携し、専門的な知識や最先端の技能の支援で施設の機能を高めます。
- こどもたちの感性を刺激する学習支援の強化を図るため、教育機関との協力体制を深めます。
- 連携事業で相互に協力し、活動の活性化や発展に貢献し、ひいては地域への還元につなげます。

①教育機関との連携による教育支援及び文化芸術振興の強化

▶ ア 教育機関との連携

- ・藤沢市湘南台文化センター周辺には、慶應義塾大学、日本大学、多摩大学、文教大学など多数の高等教育機関があり、近隣大学と協働でイベントを行い、関係性を深め、**最先端の技術や教育**を地域に還元する窓口の1つとして機能するように、関係構築に努めます。
- ・各学校のサークル等での活動の場を市民シアターで創出し、シアター事業にも講師等で参加してもらうなど、相互に有益な関係を構築していきます。



慶應義塾大学
湘南藤沢キャンパス

▶ イ 学校教育現場との連携

- ・**オリジナルプラネタリウム学習番組**を活用し、プラネタリウムの機能を最大限活用します。効果的な体験学習で教育効果を高め、こどもたちの天文学習を推進します。
- ・藤沢市教育文化センターと連携し、平日の団体投影枠において**藤沢市内の小学校・中学校**の学習投影を**優先的に予約**することで、学習指導時間内に確実にプラネタリウム学習が行えるよう支援します。
- ・学校単位での団体利用が少なく、プラネタリウムで学習をしたくてもできない状況への対策として、**中学生向け番組の特別投影**を年に数回開催します。藤沢市教育文化センターと連携し、藤沢市内全中学校に案内を行うことで、個人で学習投影が観覧できる機会を提供します。
- ・教員の学習指導に資するため、**市内外の理科教育研究会等の研修の支援**を行います。学校現場の要望に耳を傾け、緻密な連携で理科教育がより充実したものになるよう、積極的に支援を行います。
- ・音楽に関するアウトリーチを行い、楽器の体験や合唱指導によって学校にとって外部からの指導で、新たな**学びの機会**を創出しています。また、教員にとっても専門的な知識を持った演奏家の指導を実際に見学し、質問ができる場面を作ることで包括的な育成に寄与します。
- ・**湘南地区高校演劇連盟主催事業**や**藤沢市中学校演劇発表会**への協力を行い、事業開催に向けて支援及び演劇に関する舞台芸術の普及に寄与します。



プラネタリウム学習番組

②関連施設や団体との連携による施設の効用のアップグレード

▶ ア 専門知識を有する団体との協働と連携

- ・専門知識を有する団体と連携してワークショップや企画展等の催し物を行うことで、**より専門的で効果的な事業**を促進します。また、事業を継続的に行うことで、団体との強固な関係を構築します。
- ・プラネタリウム事業の開催に当たり、国立天文台や宇宙航空研究開発機構(JAXA)等の専門機関と連携し、展示の受入や展示物の借用、講演会の開催など、最先端の宇宙科学にふれたい**大人も満足できる事業**を推進します。また、これらの機関において知名度の高い教授等の派遣を要請するには、関係性や交流が重要であり、専門知識を有することも館職員の積極的な研究機関への働きかけを行います。



いすゞ自動車による
ワークショップ

Ⅱ 事業計画書 6 特記項目

【主な連携団体と事業例】

ワーク ショップ	<ul style="list-style-type: none"> ・関東電気保安協会：電気工作の講座 ・いすゞ自動車株式会社：ものづくり体験の講座 ・宇宙少年団藤沢分団：電子工作等の講座 ・円行公園竹林の会：竹林での野外体験講座 ・藤沢メダカの学校をつくる会：藤沢メダカの講座 ・藤沢クマゼミ調査研究会：セミの羽化の野外体験講座 ほか
展示事業 ・企画展	<ul style="list-style-type: none"> ・藤沢市郷土歴史課：考古資料の展示や情報提供 ・京都大学：大型立体月球儀の提供 ・株式会社タカラトミー：月面探査ロボットのレプリカの提供 ・国立極地研究所：隕石の提供 ほか
プラネタリウム事業	<ul style="list-style-type: none"> ・国立天文台：アルマ望遠鏡東アジア統合技術チーム長の講演会 ・JAXA：小惑星探査機「はやぶさ2」プロジェクトマネージャの講演会 ・JAXA：イプシロンロケット プロジェクトマネージャの講演会 ほか

▶ イ 教育施設や関連団体との連携

- ・他市の教育施設と連携し、企画展への所有資料の貸し出しやプラネタリウム出張投影等を相互に行うことでイベントの充実や支援を図り、施設の認知度向上に努めます。
- ・プラネタリウムにおいては、職員のプログラミングによる独自の演出の開発を行っており、積極的に情報交換を行います。
- ・日本プラネタリウム協議会等、関連団体の研修会や会合に積極的に参加することで最新の情報を収集し、施設の機能の充実を図ります。
- ・昭和音楽大学との連携で、在校生、卒業生の公演参加や協力、職員の研修の受け入れ先などとしての協力関係をさらに深めていきます。
- ・近隣の施設である茅ヶ崎文化会館、鎌倉芸術館、シリウス（大和市文化創造拠点）等の関連団体と連携して事業等を行っていくことを検討し、地域全体の活性化に寄与します。



日本プラネタリウム協議会
全国大会の様子

【主な連携の事例】

教育施設	<ul style="list-style-type: none"> ・浜松科学館：ゲストプラネタリウム投影 ・平塚市博物館：プラネタリウム補助投影機の貸し出し ・昭和音楽大学：公演のエキストラ、研修受け入れ ・神奈川県立 生命の星・地球博物館：恐竜の化石等の資料の借用 ・郡山市ふれあい科学館・愛媛県総合科学博物館：プラネタリウム演出の共同開発とコンサートの開催 ・茅ヶ崎文化会館、鎌倉芸術館、シリウス（大和市文化創造拠点）等：藤沢市民オペラ及び藤沢市民オペラ関連事業の開催 ほか
関連団体	<ul style="list-style-type: none"> ・日本プラネタリウム協議会：研修会の講師登壇、デモンストレーション投影、事務局員としての運営支援 ・一般社団法人日本ジャイアントスクリーン協会：協力によるイベントの開催、理事としての運営支援 ・神奈川県博物館協会：研修会での講師登壇、会報への論文提供

▶ ウ 企業・NPOとの連携構築・強化

- ・民間事業者や非営利団体と様々な協働を図っており、藤沢市湘南台文化センターと関係性のある企業と連携を図っていくとともに、新規団体等との連携を構築していきます。
- ・湘南台駅は鉄道事業者3社が乗り入れしていることから、これらの鉄道事業者、駅舎などとの関係構築及び連携強化を図ります。
- ・地域や施設のイベントに協力し、相互にとって意義のある協力関係を構築していきます。
- ・湘南モールフィルなど、市内商業施設と連携による出張のワークショップイベントや天体観望会等を開催します。相互の連携を強化するとともに、施設に来館したことがない市民に対してこども館をPRし、新規の利用者の促進及び知名度の向上に寄与します。

Ⅱ 事業計画書 6 特記項目

③ 専門性と実績を生かした関連団体への支援と活性化への貢献

▶ ア 専門知識を有する職員の講師派遣及び資料の提供

- ・ こども館が所有する専門知識や資料・機材を活用して、教育機関の学習活動や団体が企画する事業への学習支援を行います。
- ・ 小学校の学習内容に沿った展示物を貸し出すとともに、職員が講師として学校に赴き、演示と体験の指導を行い、授業の支援を行います。
- ・ ワークショップの豊富なコンテンツと教材を活用し、出張講座を行います。また、工作指導を行う指導員への講師を務め、関連団体の活動が活発になるよう支援を行います。
- ・ 天体観望会を希望する施設や団体に対して望遠鏡と講師の出張派遣を行い、星空のアウトリーチ活動を通して、藤沢市内を中心に広域で星空と触れあうホンモノ体験の機会を提供します。また、要望に応じて星空教室の講師を務め、団体及びイベントの活性化に貢献します。



出張天体観望会での
星空教室の様子

【主な連携先の事例】

連携先例	<ul style="list-style-type: none">・出張ワークショップ：湘南モールフィル、生きがい就労センター、やすらぎ荘・ワークショップ講師：藤沢市青少年会館・出張観望会：藤沢市少年の森、境川遊水地公園、引地川親水公園、湘南台公園・星空教室：藤沢市立南市民図書館 ほか
------	---

▶ イ 鑑賞の場と発表の場の創出

- ・ 藤沢市の文化芸術の振興のため、藤沢市民オペラに代表される藤沢市の文化芸術の気運の醸成を市民会館の休館中も藤沢市湘南台文化センターを活用し、新しい事業を開催していきながら促します。
- ・ 藤沢市民オペラや演奏会を開催してきたことで、民間の音楽事務所やオペラ団体等との関係に強みがあることから、横断的な事業の開催も検討していきます。また、教育機関の昭和音楽大学との連携や県内の神奈川芸術文化財団との連携も密にし、事業だけではなく運営においても相互に協力していきます。
- ・ 自主事業を開催する際に、市民シアターの特性を生かすため、演劇公演を中心に開催し、劇団や大手プロモーターと積み上げてきた交渉の経験を生かし、良質な公演や有名俳優、演出家を招聘します。



市民シアター内部

▶ ウ 文化芸術団体活動の共催等による支援

- ・ これまで市民会館を利用していた関係団体にとって、市民シアターは新たな環境での公演になるため、これまでの経験を後世にも伝えていける場を創出していきます。
- ・ 市民団体である藤沢市合唱連盟、藤沢市民交響楽団及び藤沢ジュニアオーケストラとの協働で公演を行う機会や鑑賞機会を創出します。
- ・ 藤沢市合唱連盟においては、48団体約1,000名の会員があり、藤沢市民オペラをはじめ藤沢市の文化芸術の一役を担っていることから、日ごろの成果発表や合唱団同士の交流、そして新規の団員を加える機会を相互に協力し合いながら創出します。
- ・ 藤沢市民交響楽団や藤沢ジュニアオーケストラについては、藤沢市民オペラの関連事業への協力、参加及び団体活動の活性化をめざした世代を超えた交流を推進していきます。

Ⅱ 事業計画書 6 特記項目

藤沢市合唱連盟	すずかけ児童合唱団、藤沢ジュニア・コーラス、鵠沼ジュニア・コール、藤沢市立第一中学校合唱部、藤沢市立滝の沢中学校合唱部、湘南学園中高合唱部、神奈川県立湘南高等学校合唱部、バンビーノ・バンビーナ、学校法人藤嶺学園鵠沼高等学校合唱部、村岡中学校混声合唱団、神奈川県立藤沢西高等学校コーラス部、藤沢男声合唱団、湘南男声合唱団、湘南市民コール、湘南アマデウス合唱団、鵠沼混声“波”、かなپす、混声コーラス・メトロノーム、湘南日独協会混声合唱団アムゼル、藤沢合唱団、コーコー サクシフラCoro Saxifra、湘南混声合唱団、じゃおグリークラブ、百々の会コーラス、鵠沼エコー、女声合唱団クール・クロア、湘南コール・グリューン、コーコー潮風、浜見コーラス、ファンシーコール、湘南コーコー・ステラ、女声合唱団 藍の会、アンサンブル藤沢、コール・クレール、なぎさコーラス、鵠洋コーラス、女声合唱団 ピアニッシモ、コーラス凜、グリーンハーモニー、アンサンブル・シャローム、滝つ子アンサンブル、きらきら湘南、コール・ピッコロ、合唱サークル コスマス、コーコー・明音（メイトーン）、滝の沢中学校けやきの会コーラス、いそべ女声合唱団、女声合唱団 海の風
---------	---

- ・藤沢市民会館の休館中も、市民シアターを有効活用し、これまで市民会館を発表の場としてきた**藤沢市文化団体連合会**が公演やイベントを開催できるよう支援します。
- ・藤沢市文化団体連合会の所属団体は以下の団体が所属しており、**日本の伝統芸能**を継承していくことに注力し、我が国の文化を次世代に継承しています。



多種多様な共催事業

藤沢市文化団体連合会	藤沢市民謡民舞連合会、藤沢市邦楽協会、藤沢市吟詠連盟、藤沢三曲協会、藤沢市美術家協会、藤沢市書道協会、藤沢華道協会、藤沢市謡曲協会、藤沢日本舞踊協会、藤沢雅楽協会、藤沢市書道協会、藤沢市茶道協会
------------	---

④長期的視点、グローバル視点による施設の持続的発展

▶ ア 国内外を視野に入れた活動と連携

- ・**オリジナルプラネタリウム番組の配給**を積極的に推進します。他市の科学施設での上映で、長期的にオリジナル番組の上映を行うとともに、**全国規模での施設の認知度向上**に努めます。
- ・制作メーカーとともにオリジナルプラネタリウム番組の海外での配給を視野に入れ、これまで制作した番組の**多言語化を推進**します。配給の促進のため、**海外での映像祭への出品**に対して支援を行います。
- ・中国科学技術館等、**海外の教育施設**とのオリジナルプラネタリウム番組の相互上映や交流事業を積極的に行います。



オリジナル番組
「人生で一度は見たい、空と宙」

【主な連携の事例】

配給先・海外連携例	<ul style="list-style-type: none"> ・プラネタリウム番組配給先： 仙台市天文台、刈谷市夢と学びの科学体験館、川口市立科学館 ほか ・海外との連携： こども館、中国科学技術館のオリジナル番組の相互上映と交流記念イベント開催
-----------	---

(2)地域住民との協働・連携

地域のシンボルとして、住民とともにより良い地域社会を形成していきます。

- 地域住民と対話、連携、相互理解を深めながら社会生活の始点となります。
- イベントへの参加で市民が集まりやすく、市民が主役となれるような場所をめざします。
- いざというときの安心安全を感じられる地域の拠点としての使命を果たしていきます。

①地域と連携した事業を行っていくために

▶ **ア 委員会等による意見交換の場**

- ・藤沢市湘南台文化センターの運営に係る要望を**積極的に取り入れる**ために、地域住民、地域の商店、企業等の声を聞ける場所を作ります。
- ・各種委員会等を開催することで市民の声を積極的に取り入れていきます。施設利用者や地域の代表を委員とした**「こども館運営委員会(仮称)」**(こども館)及び**「シアター運営委員会(仮称)」**(市民シアター)を設置し、意見交換を行います。
- ・地域の日常的な**情報を共有**し、利用者や地域住民の安心安全につなげます。



地域住民との意見交換
(イメージ)

藤沢市湘南台文化センターにおける各委員会 ※構成団体は調整中	こども館運営委員会(仮称) 【こども館】	<ul style="list-style-type: none">・校長会・藤沢市青少年育成協会・郷土づくり推進会議・青少年団体・近隣博物館 など
	シアター運営委員会(仮称) 【市民シアター】	<ul style="list-style-type: none">・市民文化団体・湘南台商店会連合会・NPO法人・自治会 など

▶ **イ 地域のイベントへの積極的な参加**

- ・湘南台まつりや湘南台ファンタジアなどの湘南台地区で開催される事業には、専門的な技術やこれまでのノウハウを生かしつつ、積極的に協力することで、地域の方々との関係性を深めます。
- ・**湘南地区高校演劇連盟主催事業や藤沢市中学校演劇発表会への協力**を行い、当該事業開催に向けて支援をし、演劇に関する舞台芸術の普及に寄与します。



湘南台ファンタジア
公式サイトより引用

Ⅱ 事業計画書 6 特記項目

▶ ウ 地域の人材を活用した多様な事業の開催

- ・藤沢市には、多くの才能を持った人材が居ることから、その人材に協力を要請して事業への参加を検討していきます。
- ・地元藤沢出身者の中には国内外で活躍している方々も多数おり、それらの人材を藤沢市湘南台文化センター事業に協力してもらえるよう働きかけます。また、これまで藤沢市民オペラのように若者を育てる土壌があることを生かして、**次世代の地域人材の育成**も推進していきます。

【地域の人材を活用した事業例】

事業内容
<ul style="list-style-type: none">・県立湘南高校学生 (GW催物「ジャグリング体験＆パフォーマンス」)・日本大学生物資源科学部学生 (「セミの羽化を見に行こう！」)・フラワーデザイナー (母の日プレゼント作りの講座)・いすゞ自動車株式会社 (WSものづくり体験の講座)・関東電気保安協会 (WS電気工作等の講座)・地域ボランティア・地元の音楽家団体・合唱指揮者・振付指導者

▶ エ 地元にゆかりのある演奏家によるコンサートの開催

- ・**芸術鑑賞に親しむ機会**と地元にゆかりのある演奏家に対し、発表の場の拡大を図るため、コンサートを実施します。
- ・**身近な場所で安価にコンサートを楽しむ機会**を提供し、気軽に音楽に触れる地域の生活に根差した音楽活動の活性化を図ります。
- ・地元にゆかりのある演奏家に演奏機会の提供を図り、**地元で活躍する場**を設け、地域と関わり、地域の方への支援につなげます。



市民シアターでのコンサート

▶ オ 地域の防犯防災活動への協力

- ・湘南台市民センターが地区防災拠点本部となっていることから、帰宅困難者や避難者の受入れを想定し、来訪者及び当施設の職員の人数に対応した数量の飲料水と非常食等の備蓄を独自に行います。
- ・気象警報発令時やその他の災害の発生が予想される場合は、**藤沢市防災配備態勢に準じ、当共同事業体も配備態勢を敷き**、利用者や市民の安全を確保するとともに施設の維持管理に努めます。
- ・自治会や商店街で構成される**地域の有志防犯パトロール隊**と協力し、地域の防犯に寄与します。

(3)子どもたちの創造性を高める事業の実績を生かした事業展開

こどもの考える力を育み、自主的な学びの機会を創出していくます。

- こどもの「できた！」を促し、人生を豊かにするための力を育みます。
- 知的好奇心を刺激する「何度来ても新しい発見があるこども館」を実現します。
- 日常では経験できない体験や知識を深めるきっかけを創出します。

①こども一人ひとりの可能性の拡大

▶ **ア 自ら考え・工夫する年間200回を超える豊富なワークショップ**

- ・こども館では、豊富なコンテンツによる**年間200回を超えるワークショップ**を開催しています。家庭や学校だけではできない**多種多様な体験**の機会により、「学力ではなく意欲や発想力など人生を豊かにするための力『非認知能力』」を育む体験活動の機会を提供します。
- ・こども館で実施している「放課後ワークショップ」は、平日に気軽に参加できる工作機会とし、**自由な発想**でこどもの**創意工夫**を発揮できる環境を創出します。また、こどもの居場所を兼ねる事業にします。
- ・こどもが職員や親を頼らずに工作に取り組める環境整備と指導のノウハウを蓄積しており、**こどものチャレンジ心**を後押しするきめ細かなサービスを徹底します。
- ・リピーターの満足度向上と新たな利用者拡大のために、**毎年新規事業を企画**します。今後も要望の高い事業やニーズの調査を行い、魅力ある事業を提案し続け、こどもの創造性を促進させます。



ワークショップ



放課後ワークショップ

【ワークショップの事業例】

事業名	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンワークショップ「ミニチュアードを作ろう(お寿司)」 ・申込制ワークショップ「セミの羽化を見に行こう」 ・陶芸教室「楽焼き」「本焼き」「幼児陶芸・楽焼き」 ・放課後ワークショップ「金属素材で楽しもう」「折り染めで作ろう」ほか
-----	---

▶ **イ ハンズオン展示による遊びと学びの機能の充実と企画展**

- ・「何度来ても新しい発見があるこども館」を実現するために、大きな特徴の一つである展示の**ハンズオン機能**を充分に活用し、日常的に利用者が満足できる工夫を行います。

※ハンズオン機能…展示物や装置に実際に触れて操作し、体験的に学ぶ学習方法です。



ハンズオン展示

- ・常に新しい展示ができるよう**資料の保管・収集**に努め、こどもたちが自ら工夫して遊び、発見を通して学ぶ、**日常的な思考力と創造力を**育みます。
- ・日本に古くから伝わる**伝統行事や文化**を体感できるよう、季節に合わせた展示や事業を行います。
- ・企画展示では、こども館の**開放感あるエントランス**を生かして大きな七夕の竹の展示をするなど、新たな驚きや発見を促します。

【主な展示企画や事業例】

事業例	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕展示：竹を展示し、短冊にお願いごとを書いて飾る体験展示 ・ハロウィンを楽しもう：説明パネルや装飾の展示、お面等のものづくり体験 ・おひなさま展示：七段のおひなさま飾りと郷土玩具の実物展示 など
-----	---

Ⅱ事業計画書 6 特記項目

▶ ウ 夏休み特別企画展による非日常体験と長期休暇の居場所づくり

- こども館で開催する「夏休み特別企画展」は、日常では経験できない体験ができる大型イベントとして開催します。幅広い年齢層の利用者が満足できるように配慮しつつ、未就学児がさわって体感できる展示と小学生の自由研究の支援になる学習的要素を含めて構成します。
- 企画のテーマをワークショップ内にも関連付け、視覚的インパクトを与えるような新しいデジタル機能を使用した展示を積極的に取り入れます。
- 宇宙劇場で上映する全天周映画とテーマを特別企画展と連動することで、利用を促進し、展示ホールに足を運びたくなるような仕掛けをつくり相乗効果を狙います。
- 夏休み期間などの長期休暇を活用し、継続的かつ段階的な体験と学びを実現するプログラム事業の整備を行います。
- 長期休暇中の子どもの居場所づくりとして、子どもの「生きる力」を育み、「地域に愛着を持つ」ことができるよう、将来にわたって心に残る事業展開をめざします。

【主な夏休み特別企画展の事業例】

夏休み 特別企画展 事業	<ul style="list-style-type: none"> 「夏休み！こども館deきもだめし」 おばけやしきの設置、展示ホールで妖怪を探す体験企画 「レッツEnjoyスポーツinこども館」 プロジェクションマッピングの体感展示、スポーツ用具のハンズオン展示 など
--------------------	--



「こども館deきもだめし」
本格的なおばけやしきの外観



「ミッショニン！月のヒミツを探れ！」
光る月の石を探す体験展示

▶ エ プラネタリウムの学習投影・特別投影による対話的な学びの機会

- プラネタリウムの学習投影では、学校ごとの授業進度や児童・生徒の特性を踏まえた効果的な投影を行います。
- 学習投影の生解説では、児童・生徒との対話を大切に行います。児童の考えを引き出しながら、子どもの「もっと知りたい！」に応えます。
- プラネタリウムのナイトイベントでは、「参加型」の企画で、近年人気コンテンツである没入型の「イマーシブ体験」を取り入れ、全天周で映像に包まれるプラネタリウムと参加型イベントで活用します。
- プラネタリウムにおいて、積極的に参加型事業を企画することで、子どもたちはもちろん、全ての世代に向けて、楽しみながら星の知識が深まる事業を今後も提案していきます。



学習投影では打合せを行い
学校の要望に応える



参加者の協力で謎に挑む
ハロウィンイベント

【オリジナルプラネタリウム学習番組】

学習 番組	<ul style="list-style-type: none"> 小学4年生向け「湘太・南・ダイのコスモウォッчинг～月・星の世界～」 小学6年生向け「湘太・南・ダイのコスモウォッчинг～月と太陽のひみつ～」 中学生向け「湘南・藤沢からのサイエンス～地球 きらめく夜空～」
----------	---

【主な参加型プラネタリウムイベントの事例】

イベント の 事例	<ul style="list-style-type: none"> 「宇宙旅行で誕生日星座をさがそう！」： 参加者が行きたい星を選ぶバーチャル惑星ツアー 「プラネタリウム★ハロウィンナイト～バンパイアから星空を取り戻せ！～」： 参加者で協力して星空の謎に挑む、ライブ感あふれる演劇参加型イベント 「集え、挑戦者たち！～スペーストラベル ミステリーツアーへGo！～」： クイズの答えによってラストが変わるマルチエンディングイベント
-----------------	--

Ⅱ 事業計画書 6 特記項目

▶ オ 次代を担うこどもたちの創造性を高めるために

- 柔軟な発想力や好奇心が育ちやすい幼少期に、主体的に「夢中になって取り組む」遊びや体験・創作の経験ができる機会を創出し、今後もこどもの興味や知識の幅が広がるよう支援します。
- 新学習指導要領で重視されているアクティブ・ラーニングを取り入れた「主体的・対話的で深い学び」を意識し、こどもが「なぜ?」(疑問)を感じ、体験を通して「なるほど!」(発見)につなげ、「やってみよう!」「もっと知りたい!」(探求)と思う気持ちを育むプログラム構成を検証・実践します。教育的に推奨されている学びの理論を意識して事業にあたることで、論理的・効果的にこどもたちの創造力と意欲を育んでいくよう努めます。



夢中が見つけられることも館

▶ カ こどもの創造性×藤沢市民オペラ

- こどもに良質な音楽を観賞する機会を創出することに加えて、こどもチャレンジする環境や学校以外での文化芸術活動ができる体制を作ります。藤沢市民オペラやその関連事業に「こどもの成長する機会」を組み込むことで、地域の文化芸術として、より藤沢市全般に根差した市民オペラ公演に昇華させていくことをめざします。



藤沢市民オペラ『魔笛』

▶ キ こどもの鑑賞体験機会の充実

- 音楽や演劇の公演をこどもにも楽しめる内容で企画します。これまで同様みらい子どもフェスタ、ワンコイン・コンサート、こどもオペラなど、こども向けの鑑賞機会を作り、初めての劇場を経験する機会を、引き続き創出します。
- 関係団体や興行団体との共催事業を行う際に、こどもの教育や体験を目的とした事業や取組を優先し、民間や専門団体の強みを生かした様々なジャンルの事業を行い、相互にとって有益な事業開催と市民への還元をめざします。



みらい子どもフェスタ



はらぺこあおむし



みらい子どもフェスタ
ワークショップ

【主なこども向けの事業例】

公演名	ワンコイン・コンサート ～0歳からのコンサート～
内容	・金管五重奏＆ドラムコンサート ・和楽器アンサンブルコンサート ・木管四重奏とピアノコンサート ・お正月コンサート ほか

公演名	みらい子どもフェスタ
内容	・劇団飛行船「はらぺこあおむし」 ・劇団かかし座公演「ふしぎの国のアリス」 ・劇団東少「つるのおんがえし」「ごんぎつね」 ほか

▶ ク 「こどもまんなか」に配慮した取組

- 将来の地域の主役を担うこどもや若者を大切にすることで、藤沢市の「こどもまんなか」への取組を推進し、地域の遊び場や集まれる場として施設の役割を果たしていきます。



Ⅱ事業計画書 6 特記項目

②子どもの感性を育む新規事業の開催

▶ ア 科学体験が行えるイベントの拡充

- ・こども館では、これまで開催してこなかった「科学」を打ち出した事業を開催し、科学に関連したワークショップの実施やサイエンスショーなどの**体験型イベント**のほか、じっくりと取り組む**実験教室**を開催します。
- ・展示ホール内のスペースや**常設の展示物を活用**し、利用者が気軽に楽しめる科学イベントを開催することを検討します。
- ・科学事業では、主体的に学びにつなげる**プロセスを重視**し、楽しむことをきっかけに科学分野への興味を喚起します。こどもたちの発言を拾い上げ、自信を持って新たなものを作り出していく**科学の芽生え**を大切にし、こどもの心の育成につなげていきます。



サイエンスショー

【主な科学イベントの事例】

科学 イベント名 と内容例	<ul style="list-style-type: none">・ワークショップ 「おばけリウム」光の屈折を利用して、フィギュアが浮かんで見える工作・サイエンスショー 「空気であそぼう！」「楽しいおばけの実験ショー」ほか
---------------------	---

▶ イ ラボラトリー=研究所をテーマとした事業で思考力を深める

- ・新たな事業展開として、「**探求学習**」の視点を取り入れた事業を開催していきます。自ら問い合わせ(ふしぎ)を発見し、自分なりの答え（わかった！できた！）を探していく**主体性を伸ばせる**ような学習活動を実施します。
- ・「ラボラトリー=研究所」をテーマとして、こどもが小さな研究員となって事業に取り組み、職員がこどもの「探求心」とプロセスを大切にすることで、**思考力の深まり**につながる事業を展開します。



体験を重視したラボイベント

▶ ウ 働く楽しさをこどもたちへ

- ・こどもたちがこども館や市民シアターでの仕事の体験を通して、働く楽しさや社会の仕組みを学ぶ**「お仕事体験」**を様々なイベントの際に開催します。
- ・自主事業の際のプログラム配布やアンケートなどを体験し、楽しみながら施設内での仕事に参加し、**学ぶ機会**を創出します。



公演時のお仕事体験

③こどもを育む環境の充実

▶ ア こどもにも親にも心のよりどころを

- ・**地域の主役を担うこどもや若者**が安心して暮らせるよう、こどもはもちろん、その親にも**心のよりどころ**になる事業を開催します。また、こども同士、親同士が情報交換ができる場所にしていきます。
- ・公演に家族で足を運べるように、**託児サービスの提供**や**子育て支援センター**と連携したイベント等を開催します。
- ・藤沢市が実施している「サマースクール事業」に藤沢市湘南台文化センターも協力し、こどもたちの安心安全な居場所の確保に取り組みます。



子どもと一緒に足を運べる劇場

【主なこども支援事業例】

事業名	<ul style="list-style-type: none">・コール・ピッコロ15周年バンビーノ・バンビーナ5周年記念「うたの宝石箱コンサート」・藤沢ジュニアオーケストラ第36回定期演奏会・藤沢市合唱連盟ジュニア合唱団部門「SK松本ジュニア合唱交流会」・公演託児サービス ほか
-----	---

(4)地域文化振興の拠点としての事業実績を生かした事業展開

地域の文化芸術が始まる場所、観られる場所、行える場所をめざします。

- 文化芸術の拠点として、充実した舞台芸術の鑑賞機会を創出し続けていきます。
- 特徴のある外観を生かして、アートに触れられるモダンな施設として確立してきます。

①地域の文化芸術の拠点＝みんなの集まる劇場

▶ **ア 劇場の特性を生かして、演劇公演事業を中心開催**

- ・市民シアターの特性を生かし、自主事業は**演劇**を中心とした鑑賞事業を開催します。
- ・これまで多くの演劇公演を開催してきたノウハウを生かしつつ、さらには県内全域を網羅する団体と協力して、演劇や芝居が鑑賞でき、自ら創作ができる場にすることで、**創造的でモダンな場所をめざします。**
- ・神奈川芸術文化財団と協働で現代アートの発表、創造の場にもしていくことで、**前衛的で新進的な側面も持ち合わせた施設**にしていきます。
- ・市民が地域の劇場で、**非日常の体験**ができる機会を創出します。



市民シアター舞台

【過去に開催した藤沢市湘南台文化センター市民シアターでの演劇公演一例】

公演名	・シーエイティプロデュース「裸足で散歩」、「華々しき一族」 ・トム・プロジェクトプロデュース「沼の中の淑女たち」 ・M&Oplaysプロデュース「二度目の夏」ほか
-----	---

▶ **イ 何度も利用したくなる劇場**

- ・市民シアターの特性の1つでもある、優れた舞台職員による舞台運営のノウハウを生かし、**音響、照明及び舞台機構**に関する豊富な知識と経験を持つ専門技術等を生かし、市民シアター利用者の舞台演出を効果的に支援します。
- ・事業の実施方法や施設利用に関して、市民が職員に**気軽に相談**でき、企画運営に対する**アドバイスや話し合い**ができる環境を作ります。
- ・舞台職員は本番公演等に立会い、舞台設備や機構の操作など、**利用者へのサポート**を行います。



市民シアター
バックステージツアー

▶ **ウ 人気事業の継続開催と施設の文化的な新しい使い方**

- ・市民シアター既存事業の「**バックステージツアー**」や「**市民シアターでグランドピアノを弾いてみよう！**」を継続して開催し、人気事業の固定客も誘引しながら事業を展開します。
- ・**映画の上映や映画に関するワークショップ**も開催し、多様なニーズにあわせた事業を展開します。



「市民シアターでグランドピアノを弾いてみよう！」

Ⅱ事業計画書 6 特記項目

▶ 工 ボランティアの募集と活用

- ・市民シアターで開催する自主事業やイベント等で、運営のサポートにあたるボランティアを募集します。
- ・チケットもぎり、プログラム配布、ホール案内等を通して、**公演やホールの魅力に触れ**、舞台芸術への理解と関心を深める機会につなげ、ボランティア同士や職員と情報交換や共有、意見交換を行い交流する機会を創出します。
- ・「ユースサポート・ユースワークふじさわ」と連携し、ひきこもりや二トなどの社会生活に悩みを抱える若者に**公演事業を通した社会体験の機会**を提供し、自立や就労に向けた支援を行います。



シアターでのボランティア活動

▶ オ 優先使用制度の適切な運用

- ・国や神奈川県、藤沢市や市内文化芸術団体などが不特定多数の市民や愛好者などを対象に開催する大会やイベントなどは、「藤沢市湘南台文化センター条例施行規則」に沿った**優先使用**の手続きを取り、決定します。
- ・優先使用の許可にあたっては、**使用機会の均等**を保ち、適切なバランスを藤沢市担当課と協議のうえ、決定します。



施設予約抽選

②藤沢市民オペラの歴史に基づく地域の文化芸術の発展

▶ ア 地域の合唱団・オーケストラの育成と地域活力の増進×藤沢市民オペラ

- ・藤沢市民オペラの開催によって、出演者である**市民合唱団と市民オーケストラ**が生き生きと活動し、地域の文化芸術活動を活性化します。
- ・伝統的に**若い世代**のデビューの場となっている本市の文化芸術は、市民シアターから若い世代に登壇の機会も積極的に企画し、歴史を踏襲していく事業の開催を検討します。
- ・地域の合唱団とオーケストラは市民会館再整備の間、藤沢市民オペラの公演を経験することができないため、藤沢市湘南台文化センターをはじめ関連事業への出演を促すとともに**近隣地区での公演**を開催します。
- ・公演とあわせて地域と連携して、湘南台地区の商店街連合会、地域の企業、店舗、**レストラン等と協働**でイベントや企画を行い、地域の活性化に寄与します。



藤沢市民オペラを通して
地域の活力増進



藤沢市民オペラに参加する
児童・生徒たち

Ⅱ 事業計画書 6 特記項目

③新しい文化芸術にチャレンジできる環境とこれまでの文化の継承

▶ ア 文化芸術を始められるユニバーサルな制度設計

- ・ストリートや学校などから生み出される芸術表現を「やってみたい」と思ったときに、市民シアターの職員に相談ができる、いつでも始められる劇場をめざします。数人の仲間と一緒に本番も創り上げができる制度を設計し、若い世代がひとりでも友人とでも**文化芸術を始められる場所**をめざします。
- ・市民シアターには、**高い技術を持った舞台職員**があり、利用者の芸術表現と一緒に創り上げていきます。また、利用者が舞台で実現したいことは、舞台職員と相談することもでき、予算等に応じて検討することができるので、より利用者が満足できる舞台を創造します。



舞台での芸術表現を支援



演劇ワークショップ

▶ イ 学校以外で社会活動の場

- ・市民シアターから合唱団や演劇集団を編成するワークショップ、他団体の公演への出演を企画し、「やってみたいが部活動がない」などの声から、若者の**「やってみたい」**を拾い上げ、若い世代の可能性を劇場で発掘します。
- ・地域の公共施設として、そこに集うことで学校とは異なる友人や知人を作る場所ともなり、施設の**地域貢献**に寄与します。



学校以外で学ぶる機会

▶ ウ 藤沢市文化団体連合会との協働と地域への伝統芸能の継承

- ・藤沢市の文化活動に長く貢献してきた**藤沢市文化団体連合会**の各協会員の活動を支援します。
- ・伝統芸能は長年我が国で培われてきたもので、**継承していくことも**劇場としての務めであり、文化的遺産をどのように保護していくのか、藤沢市及び藤沢市文化団体連合会と協議していきます。
- ・日本の伝統芸能を継承していくための試みとして、各団体が参加する「わくわく体験広場」を継続するとともに、その他の**新しい取組**にも協力していきます。



文化団体連合会の発表会

Ⅱ 事業計画書 6 特記項目

④ 地域のランドマークとして

▶ ア 文化的なイベントの拠点

- ・当共同事業体構成団体でもある(公財)藤沢市まちづくり協会が管理している湘南台公園を活用し、**藤沢市湘南台文化センターと湘南台公園を一体的に捉え**、地域のお祭りやイベント開催時には、地域と協働して積極的に参加していきます。
- ・藤沢市湘南台文化センター内にある2つの大階段を活用し、屋外でのコンサートやストリートダンスなどのイベントを企画するとともに、見学できる会場となるよう整備します。
- ・こども館と市民シアターの共同事業として「スターライトコンサート＆スターウォッチング」を継続して開催し、藤沢市湘南台文化センター全体でそれぞれの特性を生かした、**芸術の発信と学術的なアプローチ**で地域の文化的活動に寄与します。



地域のにぎわい



前庭階段

▶ イ 敷地を有効活用したサービス

- ・こどもと一緒に水遊びや涼をとれる環境を整備し、楽しい声が響き渡る、**こどもから高齢者まで**誰でも集える地域の憩いの場をめざします。
- ・連絡通路により湘南台公園と連結している強みを生かし、藤沢市湘南台文化センターと**湘南台公園を一体的に捉えた企画**を検討します。
- ・藤沢市湘南台文化センター内の**回遊庭園**を散策や散歩コースとして活用していただけるよう整備し、地域の方の利用を増やします。
- ・展示作品を藤沢市湘南台文化センターの設置可能な場所に展示し、文化芸術の拠点であることをアピールすると同時に、施設の経年劣化を目立たなくさせ施設の雰囲気を変えられるようにアート作品の設置を検討します。



水遊び場周辺



藤沢市湘南台文化センター

▶ ウ 総合市民図書館との連携

- ・こども向け公演の前に同じ演目の絵本の読み聞かせを行うなど、**図書館の「読み聞かせ」や「おはなし会」を藤沢市湘南台文化センターの事業と連動**させることで、こどもの情操を育むとともに双方の利用促進につなげます。
- ・藤沢市湘南台文化センターで行う公演やイベントに合わせて、図書館で**関連する図書を展示するブースを設置する**など、連携を図ります。このことにより、図書館で“知識”を学び、藤沢市湘南台文化センターで実際に“観る”“聴く”体験を通じて学びを深めます。



特設ブース

(5)収入の確保と事業への還元

持続可能な運営と上質な鑑賞機会、体験機会の創出をめざします。

- 事業開催は収支バランスを意識し、市民ニーズの把握と時代の流れに対応していきます。
- 既存の資産を再検証し、利用の可否を評価し、市民へのサービスの向上を模索します。
- 自助努力を怠ることなく、収入確保の機会を常に探っていきます。

①良質な公演事業と魅力的な自主事業による収入

▶ **ア 持続可能な入場料金や参加料の設定**

- ・市民シアターで開催する主催公演を行う際に、チケット販売を行います。
良質な公演を適正価格で市民に鑑賞してもらい、収益性を考慮し持続可能な公演事業の開催をめざします。
- ・こども館のワークショップ講座やプラネタリウムのナイトイベントの利用料金は**受益と負担の適正化**を図ります。収入を確保しながらもこどもは気軽に参加できる料金設定とします。



市民シアター客席



プラネタリウムコンサート

▶ **イ 出張観望会・出張ワークショップ**

- ・市内外の公共施設や商業施設等から依頼があった際には、出張観望会や出張ワークショップに可能な限り協力します。市内外へ藤沢市湘南台文化センターを広くPRするとともに**講師派遣料としての収入確保**につなげます。



湘南モールフィルでの出張ワークショップ

②物品販売等における収入確保

▶ **ア ミュージアムグッズの販売**

- ・グッズ販売のスペースをリニューアルし、**こども館の事業と連動したグッズなどの販売**による収入確保に努めます。
- ・地域企業と連携し、**オリジナルグッズの開発や販売**も実施します。
- ・利用者からの要望の多い、**ワークショップ教材の販売**を実施します。



ミュージアムグッズ

▶ **イ 飲食物の販売**

- ・イベント開催時など、利用者の多く見込まれる時期に、**キッチンカー**等による飲食物の販売を行い、出店料を収入の一部とします。
- ・地域の事業者と連携し、**世界の食文化や季節の行事にあわせたメニュー**など、展示や施設に関係した販売品を企画します。

Ⅱ 事業計画書 6 特記項目

③各種手数料による収入

▶ ア 劇場を利用する団体のチケット受託販売

- ・市民シアターで公演等を行う団体のチケット販売を行います。開催する劇場でチケットが販売できることの強みを生かしその販売手数料を収入につなげていきます。また、現在使用していない市民シアターのチケットブースを再利用し、施設内で気軽に立ち寄れる環境に整備します。
- ・他団体のチケット受託販売には、最低販売手数料の設定を導入するなど、収入面を意識した内部規程の改正なども検討していきます。



市民シアター

▶ イ 物品販売等に関する手数料

- ・市民シアターを利用する団体が、公演当日にロビーで物品販売をする際には、物品販売手数料の徴収を行います。
- ・飲料やアイス、お菓子の自動販売機を設置し、手数料を収入の一部とします。

▶ ウ 公演時の折り込みチラシ、掲示板への掲載の有料化

- ・主催公演や共催公演において、公演プログラムやチラシの配布を実施する際に、他の団体や他の劇場で開催する公演やイベントなどのチラシを有料で折り込みをします。
- ・施設内の掲示板にポスター等を掲示する場合、有料での掲載を検討します。

④協賛及び広告料収入

▶ ア プラネタリウムのコマーシャル上映

- ・プラネタリウム番組及び全天周映画の投影、上映前のコマーシャル上映による広告料収入の獲得に向け検討します。

▶ イ 企業や個人からの協賛金

- ・藤沢市湘南台文化センターで行うイベントの際に、外部関係者や企業に協賛金を募り収入確保に努めます。

⑤その他の収益を得るための営業努力

▶ ア 公的な施設に係る助成金への積極的な交付申請

- ・市民シアターでの事業や運営をより充実したものにするために、これまでに多くの助成金を取得してきたノウハウを駆使して、助成金等への申請を強化し、新たに安定した財源を確立していきます。
- ・これまでの助成金に対するアプローチは、文化芸術や舞台芸術に係る申請がほとんどであったため、市民シアターを管理するにあたって申請するジャンルを多角的に検討し、要件に合致する助成金を探していきます。

▶ イ 友の会発足による会員費の徴収

- ・有料会員である友の会等を発足し、公演情報やイベント情報のお知らせや先行発売等の特典を付け、年会費を徴収します。収入として確保できるだけではなく広報にも役立てていき、事業の気運醸成に寄与します。

▶ ウ オリジナルプラネタリウム番組の配給による収入確保

- ・こども館で企画・製作したオリジナルのプラネタリウム番組を、自館で上映するだけでなく全国または海外のプラネタリウム施設に配給し、収入の一部とします。

▶ エ 映画・ドラマ等の撮影時の利用料等の収入

- ・藤沢市湘南台文化センターの特徴的な外観を生かし、映画、ドラマ、CM等のロケ地として施設を積極的に提供することで、藤沢市湘南台文化センターの認知向上を図るとともに、利用の際には利用料を徴収し、収入の一部とします。なお、料金設定のないエリアでの撮影については、独自の料金設定を設け、利用料を徴収します。

Ⅲその他 1 提案の整合性

特色ある提案

藤沢市湘南台文化センターに新しい風を吹かせます。

- 従来の運営に加え、共同事業体として、これまでにない発想で新たな風を吹き込みます。
- 次世代に新しい風を届ける文化・学びの拠点をめざします。
- 地域に新たな風を呼び込み、にぎわいを創出します。

①施設利用の促進

▶ 水遊び場の復活 【再掲】

- ・小さな子どもの遊び場として、せせらぎ広場の水遊びができるエリアを一部再開することで、水に触れ、心地よさや涼しさを満喫できる機会を提供し、にぎわいを創出します。
- ・小さな子どもとその保護者にとって魅力のある遊び場として利用を増やします。



水遊び場

②サービスの向上

▶ オンラインをはじめとした、多様なチケット販売 【再掲】

- ・自主事業についてはオンラインチケット購入サービスを取り入れ、来館することなくご購入いただくことができるオンライン化の推進に取り組みます。
- ・自主事業等のチケットは、インターネット予約・電話受付のほか、インターネット等が苦手な購入者のニーズに鑑み、対面販売も継続して実施します。
- ・お客様に納得してチケットをご購入いただけるよう、窓口ではきめ細かに対応し、**親切、丁寧、的確な接客**に努めます。
- ・窓口対応の際は、職員がお客様とのコミュニケーションに努め、施設運営や自主事業について意見や要望などの聴取を図ります。



オンラインチケットサービス

③子どもたちの創造性を高める事業の実績を生かした事業展開

▶ ハンズオン展示による遊びと学びの機能の充実と企画展 【再掲】

- ・「何度も来ても新しい発見があるこども館」を実現するために、大きな特徴の一つである展示の**ハンズオン機能**を充分に活用し、日常的に利用者が満足できる工夫を行います。
※ハンズオン機能…展示物や装置に実際に触れて操作し、体験的に学ぶ学習方法です。
- ・常に新しい展示ができるよう**資料の保管・収集**に努め、子どもたちが自ら工夫して遊び、発見を通して学ぶ、**日常的な思考力と創造力を**育みます。
- ・日本に古くから伝わる**伝統行事や文化**を体感できるよう、季節に合わせた展示や事業を行います。
- ・企画展示では、こども館の**開放感あるエントランス**を生かして大きな七夕の竹の展示をするなど、新たな驚きや発見を促します。



ハンズオン展示

【主な展示企画や事業例】

事業例	<ul style="list-style-type: none">・七夕展示：竹を展示し、短冊にお願いごとを書いて飾る体験展示・ハロウィンを楽しもう：説明パネルや装飾の展示、お面等のものづくり体験・おひなさま展示：七段のおひなさま飾りと郷土玩具の実物展示など
-----	--

Ⅲその他 1 提案の整合性

▶ プラネタリウムの学習投影・特別投影による対話的な学びの機会 【再掲】

- ・ プラネタリウムの学習投影では、学校ごとの授業進度や児童・生徒の特性を踏まえた効果的な投影を行います。
- ・ 学習投影の生解説では、児童・生徒との対話を大切に行います。児童の考えを引き出しながら、子どもの「もっと知りたい！」に応えます。
- ・ プラネタリウムのナイトイベントでは、「参加型」の企画で、近年人気コンテンツである没入型の「イマーシブ体験」を取り入れ、全天周で映像に包まれるプラネタリウムと参加型イベントで活用します。
- ・ プラネタリウムにおいて、積極的に参加型事業を企画することで、子どもたちはもちろん、全ての世代に向けて、楽しみながら星の知識が深まる事業を今後も提案していきます。



学習投影では打合せを行い
学校の要望に応える



参加者の協力で謎に挑む
ハロウィンイベント

【オリジナルプラネタリウム学習番組】

学習番組	<ul style="list-style-type: none">・ 小学4年生向け「湘太・南・ダイのコスモウォッキング～月・星の世界～」・ 小学6年生向け「湘太・南・ダイのコスモウォッキング～月と太陽のひみつ～」・ 中学生向け「湘南・藤沢からのサイエンス～地球 きらめく夜空～」
------	---

【主な参加型プラネタリウムイベントの事例】

イベントの事例	<ul style="list-style-type: none">・ 「宇宙旅行で誕生日星座をさがそう！」： 参加者が行きたい星を選ぶバーチャル惑星ツアー・ 「プラネタリウム★ハロウィンナイト～バンパイアから星空を取り戻せ！～」： 参加者で協力して星空の謎に挑む、ライブ感あふれる演劇参加型イベント・ 「集え、挑戦者たち！～スペーストラベル ミステリーツアーへGo！～」： クイズの答えによってラストが変わるマルチエンディングイベント
---------	--

④地域文化振興の拠点としての事業実績を生かした事業展開

▶ 劇場の特性を生かして、演劇公演事業を中心開催 【再掲】

- ・ 市民シアターの特性を生かし、自主事業は演劇を中心とした鑑賞事業を開催します。
- ・ これまで多くの演劇公演を開催してきたノウハウを生かしつつ、さらには県内全域を網羅する団体と協力して、演劇や芝居が鑑賞でき、自ら創作ができる場にすることで、創造的でモダンな場所をめざします。
- ・ 神奈川芸術文化財団と協働で現代アートの発表、創造の場にもしていくことで、前衛的で新進的な側面も持ち合わせた施設にしています。
- ・ 市民が地域の劇場で、非日常の体験ができる機会を創出します。



市民シアター舞台

▶ 学校以外で社会活動の場 【再掲】

- ・ 市民シアターから合唱団や演劇集団を編成するワークショップ、他団体の公演への出演を企画し、「やってみたいが部活動がない」などの声から、若者の「やってみたい」を拾い上げ、若い世代の可能性を劇場で発掘します。
- ・ 地域の公共施設として、そこに集うことで学校とは異なる友人や知人を作る場所ともなり、施設の地域貢献に寄与します。



学校以外で学べる機会

Ⅲその他 1 提案の整合性

④収入の確保と事業への還元

▶ プラネタリウムのコマーシャル上映 【再掲】

- ・ プラネタリウム番組及び全天周映画の投影、上映前のコマーシャル上映による広告料収入の獲得に向け検討します。

⑤にぎわいの創出

▶ 湘南台まつりをはじめとした地域行事への参加

- ・ 湘南台まつりをはじめ、湘南台ファンタジアや商店会が主催するイベントなどに積極的に協力し、湘南台駅周辺のにぎわい創出に寄与します。また、施設の活用はもちろん、集客につながるブースなどの出店を行いイベントの盛り上げに寄与します。



イベント時の出店

▶ 市内外から人が集まる自主事業の企画

- ・ 市民シアターでは施設の特性を生かし、演劇事業を中心に市内外より大勢の人が集まる魅力ある公演事業を企画します。
- ・ こども館では、ワークショップや展示ホールでの企画を充実させ、こどもを中心には「また遊びにきたくなる場所」を提供します。
- ・ 駅周辺や商店街にポスターの掲示を依頼し、湘南台駅周辺を一体的に盛り上げ、集客効果を高めます。



公演時のロビーの様子

▶ こども館・市民シアター共同事業の開催

- ・ こども館と市民シアターの共同事業を企画し、それぞれの利用者を取り込むことで複合施設の強みを生かした集客を行い、多くの来場者を集めます。
- ・ イベント開催時に、両施設に跨るスタンプラリーを企画するなど、横断的な連携を図ることで、利用者の相互往来を促します。



こども館と市民シアターでのコラボレーションイベントのチラシ

にぎわいの創出

キーワードは「地域連携」「魅力的な事業」「地域のシンボル」です。

- 湘南台駅周辺で行われる既存の催事に全面的に協力し、地域の活性化を支援します。
- 市民のニーズを捉え、集客が見込める公演、事業を行います。
- 市民シアター・こども館のそれぞれの集客力を効率的に活用します。

①地域連携によるにぎわいの創出

▶ ア 湘南台まつりをはじめとした地域行事への参加 【再掲】

- ・湘南台まつりをはじめ、湘南台ファンタジアや商店会が主催するイベントなどに積極的に協力し、**湘南台駅周辺のにぎわい創出**に寄与します。また、施設の活用はもちろん、集客につながるブースなどの出店を行います。



イベント時の出店

▶ イ 藤沢市湘南台文化センター×アートスクエア

- ・不特定多数の方の往来がある湘南台駅地下自由通路の**アートスクエアを活用し**、市民シアターで行う公演のPRや関連事業を実施することで、どなたでも身近に文化芸術に親しむ環境を生み出します。また、湘南台駅を中心に音楽を通してにぎわいづくりを行います。
- ・こども館で実施している**ワークショップ等をアートスクエアで開催**することで、施設のPR及び利用者の拡大につなげます。



アートスクエアでのコンサート

▶ ウ 地元の商店街と連携したチケット購入特典

- ・市民シアターでの公演チケットの半券を提示することにより、商店街の協力店舗で特典が受けられるサービスを**地元とコラボレーション企画**として実施します。
- ・商店街の魅力的な店舗と来場者をつなぎ、商店街の活性化にも寄与します。
- ・お食事やティータイムにご利用いただき、鑑賞前後も湘南台周辺で楽しくお過ごしいただくお手伝いをします。



湘南台東口商店街協同組合とのコラボレーション企画のチラシ

▶ エ 地元の企業や生産者と連携したマルシェの開催

- ・市内の企業や商店街の店舗、生産者のブースなど地元の魅力が**集まるマルシェを開催**します。
- ・地域の出店者との新たな交流、地域の方々のコミュニケーションの場を生み出します。
- ・屋外で地元演奏家のステージなどを行い、華やかで賑やかな空間にします。また、演奏家に演奏の場を提供します。



地元協働のマルシェ(イメージ)

Ⅲその他 2 市内経済活性化への配慮

②魅力あふれる自主事業

▶ ア 市内外から人が集まる自主事業の企画

- ・市民シアターでは施設の特性を生かし、**演劇事業を中心市内外より大勢の人が集まる**魅力ある公演事業を企画します。
- ・こども館では、ワークショップや展示ホールでの企画を充実させ、こどもを中心**「また遊びにきたくなる場所」**を提供します。
- ・駅周辺や商店街にポスターの掲示を依頼し、湘南台駅周辺を一体的に盛り上げ、集客効果を高めます。



公演時のロビーの様子

▶ イ こども館・市民シアター共同事業の開催 【再掲】

- ・こども館と市民シアターの共同事業を企画し、それぞれの利用者を取り込むことで**複合施設の強みを生かした集客**を行い、多くの来場者を集めます。
- ・イベント開催時に、両施設に跨るスタンプラリーを企画するなど、横断的な連携を図ることで、利用者の相互往来を促します。



こども館と市民シアターでのコラボレーションイベントのチラシ

③地域のシンボルをめざします

▶ ア 地域の憩いの場

- ・水遊び場や回遊路の整備により、幅広い年齢層に親しまれ、何度も訪れたくなる空間を創出します。
- ・せせらぎ広場や回遊路に**ベンチを設置**するなど、地域の方々がゆっくりとすごせる地域の憩いの場を創出します。



ベンチの設置(イメージ)

▶ イ 施設のデザイン性の有効活用

- ・藤沢市湘南台文化センターの**特殊な形状**を生かしてプロジェクトマッピングや投影機を使い、地域のランドマークとして活用します。遠くからでも藤沢市湘南台文化センターとわかる劇場の存在自体をアートとして、文化芸術のプロモーションを行っていきます。
- ・冬季にはクリスマスムードを演出するため、藤沢市湘南台文化センターと湘南台公園を一体化し、**クリスマスマーケットやクリスマスツリー**を設置し、地域のにぎわいにも寄与します。



地球儀への投影

▶ ウ 季節を感じることができる施設

- ・季節に応じて館内の装飾等を変えることで、四季が感じられるようにします。
- ・**屋外にクリスマスツリーやイルミネーション等のオーナメントを設置**することで、地域の方に喜ばれる施設をめざします。



クリスマスツリー(イメージ)



藤沢市湘南台文化センター指定管理者共同事業体



×

